

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県教育委員会 担当課：保健体育課 電話番号：076-444-3462
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）※中学校数に義務教育学校（後期課程）も含む

① 中学校数	77校	② 生徒数	25,424人	③ 部活動数	1,061部活
--------	-----	-------	---------	--------	---------

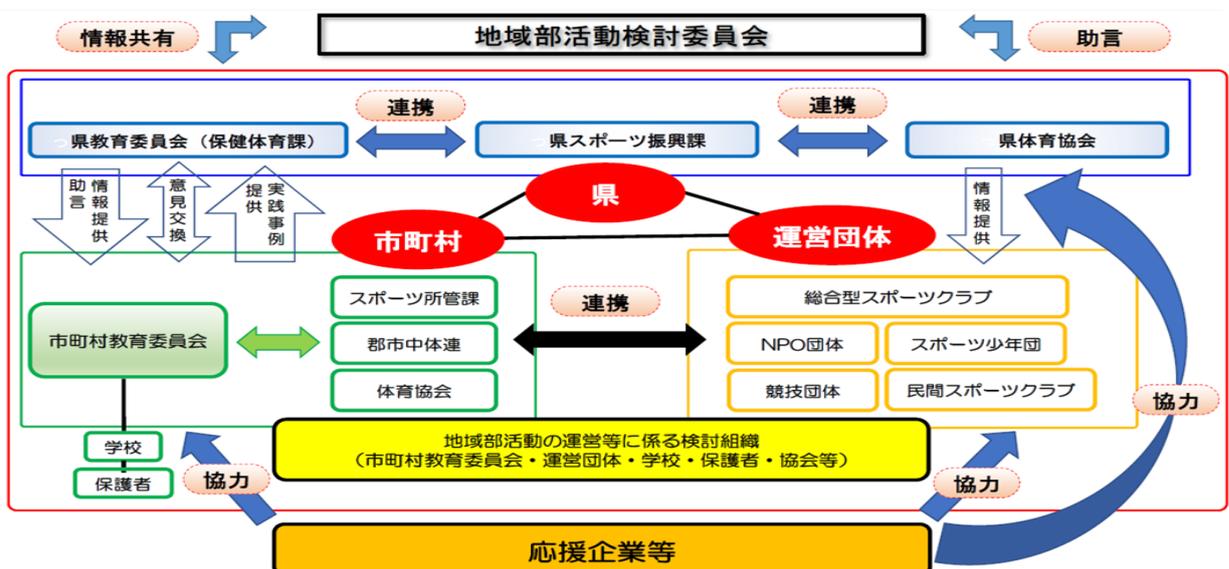
#### 1.2 地域における現状・課題

- ・令和3年度から取組を進めている4市町（高岡市・黒部市・南砺市・朝日町）に加え新たに4市（富山市・射水市・滑川市・小矢部市）で実践研究を行う。
- ・学校運動部活動の充実及び地域社会と運動部活動との連携の促進を図るため、平成13年度から「スポーツエキスパート派遣事業（市町村補助）」を実施しており、平成29年度には県内全市町村に対し450名のスポーツエキスパートを派遣している。
- ・平成30年度からは上記エキスパートの派遣に加え「部活動指導員配置事業（国庫補助）」を活用し、運動部活動の更なる質的な向上を図りながら、「教員の多忙化解消・負担軽減」に対して県・市町村・各学校が課題を共有し、一体となって取組を進めている。令和4年度には県内全市町村に対し115名の部活動指導員が運動部に配置されており、令和5年度はさらに充実を図る予定である。
- ・課題（指導者の質向上と人材の確保、費用負担の増加等）

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・令和3年度から取組を進めている4市町（高岡市・黒部市・南砺市・朝日町）に加え新たに4市（富山市・射水市・滑川市・小矢部市）を拠点とし、持続可能で中学生にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革を考慮した部活動改革の推進を目指す。
- ・令和3年度より、県では「検討委員会」を開催し、実践研究から得た課題や検証を県内全15市町村で情報共有する（中間発表・成果発表）とともに、アドバイザー（学識経験者）から指導助言を受けながら、各市町村に適応した休日運動部活動（地域スポーツ活動）のあり方の研究を進めていきたところであり、令和4年度からは、企業や総合型スポーツクラブの方々も委員に招聘し、富山県の実情に合った実践事例を発表する。
- ・指導者確保や財政支援等のため、応援企業登録制度を創設し、募集を開始する。
- ・指導者の質の向上に向け、顧問や部活動指導員等全ての指導者を対象にし、運動部活動指導者研修会（対面研修3回、オンデマンド研修2回）を実施する。

#### 1.4 実践研究の運営体制



## 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・地域部活動検討委員会（年3回実施：5月、10月、2月）
  - 【委員】学識経験者、経済同友会、民間スポーツクラブ、高体連、中体連 等
- ・第1回地域部活動検討委員会
  - （報告事項）テクニカルエキスパート派遣状況、令和3年度地域部活動実践研究、令和4年度地域部活動実践研究
  - （協議事項）トレーニングエキスパート派遣、部活動指導者研修会、応援企業の登録方法、今後の部活動の地域移行に向けた課題対策及び方向性
- ・第2回地域部活動検討委員会
  - （報告事項）「地域部活動推進事業実践研究」の中間報告
  - （協議事項）「応援企業登録制度」について
  - （その他）「部活動の地域移行」手順を県下15市町村担当者に提示し、説明。
- ・第3回地域部活動検討委員会
  - （報告事項）「地域部活動推進事業実践研究」の最終報告、「応援企業登録制度」について
  - （その他）国の取組、県の取組

## 3. 実践研究の成果と今後の課題

### 3.1 実践研究での検証から得た成果

- ・8市町の実践研究から得た課題や検証を県内全15市町村で情報共有し、部活動の地域移行への意識が浸透した。
- ・実践研究以外の町村でも実情に応じた部活動の地域移行を実践した。
- ・部活動の応援企業登録（指導者確保や財政支援等）指導者確保を開始した。
- ・運動部活動指導者研修会を（対面研修3回、オンデマンド研修2回）を実施した。

### 3.2 地域移行における今後の課題と対応

- ・指導者の確保、財政支援等

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
部活動応援企業登録・表彰制度		地域部活動に係る調査	企業登録制度の検討・創設	応援企業の募集開始・登録数の増加	応援企業の表彰	県、県教委 市町村、市町村教委 県体協、各競技団体
地域部活動推進事業		地域部活動のあり方検討委員会	地域部活動検討委員会・富山の実践事例の提示	地域部活動検討委員会 市町村支援の検討と情報共有		県内企業、県内大学 県内プロチーム 県内アーティスト 等
		休日部活動の段階的・地域移行の実践研究		実証事業		

# 部活動



# 応援企業 募集中

富山県では、部活動において、指導者の確保や保護者等の費用負担の軽減により、中学生または高校生のスポーツ・文化活動の機会を確保するため、部活動を実施する学校に対し、指導者の派遣や運営支援を行う企業等を募集しています。



地域に貢献する企業としてのPRになります！  
事例は、HP等でPRします！

右の項目にご賛同いただける  
企業等の皆さまの登録申請を  
お待ちしております。

- 部活動への指導者の派遣
- 施設や用具の提供
- 財政的支援
- 部活動への参加を促す制度の整備 等

## 申請方法

### WEBフォームから申請



<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/qwBKqTEP>

登録フォームの基本情報及び支援内容等  
を記載のうえ申請

### 申請書で申請

- ① 申請書（本チラシ裏面又はHPからダウンロード）に基本情報及び支援内容等を記載
- ② メール、ファクシミリ又は郵送で富山県教育委員会（保健体育課又は生涯学習・文化財室）へ提出

- 県に申請後、別途、申請内容についてお問合せします。
- 県で申請内容を確認し、登録後は登録証をお送りし、企業の名称・住所・支援内容等を県HPに掲載します。

送付先・  
問合せ先

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7 富山県教育委員会

（運動部）保健体育課

TEL 076-444-3462 FAX 076-444-4436

ad:ahokentaiiku@pref.toyama.lg.jp

（文化部）生涯学習・文化財室

TEL 076-444-9647 FAX 076-444-4434

ad:ashogaigakushu@pref.toyama.lg.jp

【様式第1号】



## 「富山県部活動応援企業」登録申請書

令和 年 月 日

富山県教育委員会 様

名 称	
代表者氏名	

### 1 支援内容（御支援いただける欄に○を付けてください。）※複数可

運動部	文化部	内 容
		部活動へ指導者派遣
		部活動へ施設や用具の提供
		部活動へ財政的支援
		部活動への参加を促す制度の整備
		その他

※希望される市町村・学校への提供が難しい場合もあります。その際には別途案内させていただきます。

### 2 本件についての連絡先

所 在 地	〒
部署・役職・担当者名	
電 話 ・ F A X	
メ ー ル ア ド レ ス	

### 3 企業の概要

業種 （主として該当するものに○を付けてください。）	1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業 5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 医療、福祉 10 卸売業、小売業 11 金融業、保険業 12 不動産業、物品賃貸業 13 学術研究、専門・技術サービス業 14 宿泊業、飲食サービス業 15 教育、学習支援業 16 生活関連サービス業、娯楽業 17 複合サービス事業 18 その他
事業内容	（事業内容について簡潔に記載してください。別添でも可。公表はされません。）
HPアドレス	
常時雇用に関する労働者数	全体 人 県内労働者数（ ）人 ※本社が県外の場合、（ ）に人数を記入

※ 上記個人情報については、この登録申込に関する問合せまたは協力依頼以外には使用しません。

※ 詳細は県 HP「富山県部活動応援企業登録について」

([https://www.pref.toyama.jp//3005/taiiku/ouen\\_kigyou.html](https://www.pref.toyama.jp//3005/taiiku/ouen_kigyou.html))

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県朝日町教育委員会 担当課：教育委員会事務局 スポーツ係 電話番号：0765-83-1100(322)
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	220人	③ 部活動数	12部活動
--------	----	-------	------	--------	-------

#### 1.2 地域における現状・課題

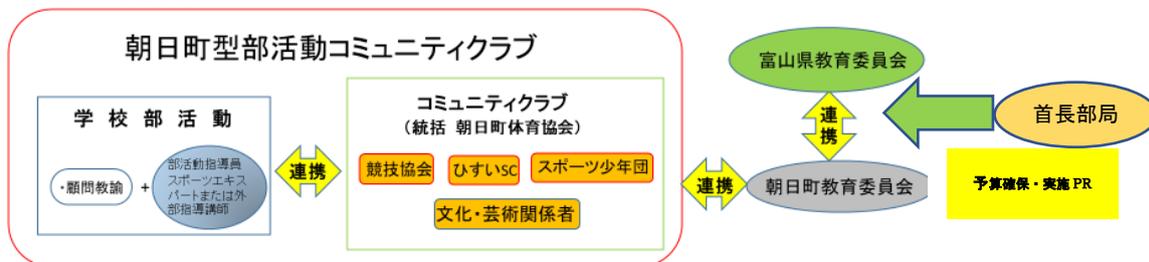
近年、学校部活動を取り巻く環境が厳しさを増しており、生徒の減少に伴う部活動数の減少、学校の縮小化に伴う教員の負担増加、さらに教員の人事異動により、生徒にとって望ましい指導を継続して受けられないといった多くの課題がある。

#### 1.3 実践研究における取組目標

令和3年度より地域と学校が連携・協力した「朝日町型部活動コミュニティクラブ」を設立・運営し、生徒のスポーツ、文化・芸術環境を充実させるとともに、生徒の自主性・主体性を尊重した多様な活動ができる場を提供するため、引き続き実践研究を行い、部活動の地域移行を進める。

- ・地域人材を活用することで、教員の学校運動部活動に係る負担軽減を実現する。
- ① 学校における運動部活動に要する労働時間の削減を図ることによる、教員の前年比較負担軽減
  - ・対象運動部活動：バスケットボール、陸上競技、卓球、柔道、剣道、ソフトテニス、バレーボール
  - ・実施時期：年間（休日1日、平日1～2日）を通して実施
- ② 学校と地域スポーツ団体が連携・協力した地域運動部活動の在り方の検討
  - ・実施時期：毎月1回(年12回) より良い運営について、検討を行う。
- ③ 将来にわたって持続可能な地域運動部活動運営に係る費用負担の内容及び支出等の在り方の検討
  - ・現状の運営費にかかる参加費用について、検討する。

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

・朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会（2回）の実施、指導者、学校、教委での調整会議（3回）を開催し、現場における課題などについて、検証を行い、実行委員会での今後の方向性を協議した。現場間での会議においては、国の制度の動向、生徒の安全管理の徹底、指導におけるサービスの徹底についての情報提供を行い、現場における課題などの集約に努めた。

・指導者の研修について、AED取扱いにかかる研修を開催し、その他の指導者研修への参加への情報提供を行った。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	1校
② 実践研究に取り組んだ部活動数	7部活動
③ 種目	バスケットボール、陸上競技、卓球、柔道、剣道、ソフトテニス、バレーボール

《主な取組例》…朝日町立朝日中学校

① 運営主体	朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会		
② 種目	バスケットボール、陸上競技、卓球、柔道、剣道、ソフトテニス、バレーボール	④ 参加者数	142人
④ 活動日	休日1日、平日1～2日	⑤ 活動場所	町営体育施設
⑦ 指導者人数	14人	⑧ 謝金単価	各競技協会 6,000円/月
⑨ 指導者属性	部活動指導員、スポーツエキスパート（外部指導者）、各競技協会所属会員など		
⑩ 参加会費の有無・金額	無		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・ 地域人材の活用により、専門性の高い指導が受けられるようになり、生徒の活動意欲が高まると共に技術及び競技力の向上等が図られたこと(生徒、保護者意見)
- ・ 教員がこれまで「学校部活動」指導にあてていた放課後の時間を 教材研究や採点、生徒指導や進路指導等さまざまな業務にあてられるようになったこと。→教員の在校時間が削減され、身体的・精神的な負担が減少したこと（教師意見）
- ・ 「学校部活動」の指導者（部活動指導員・スポーツエキスパート等が、「地域クラブ活動」の指導を行っているため、指導の一貫性が担保されていること（生徒、教師、指導者意見）

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ 朝日町型部活動コミュニティクラブ（地域クラブ活動）の運営についての理解を深めるよう、また次年度からの参加者費用負担の可能性もあることから、の保護者への理解促進のため、PTA会議や、学校新入生説明会での周知に努めた。
- ・ クラブ活動運営における関係者間の情報共有の連携のため、会議開催（3回）の実施や、顧問、指導者間での情報共有の連携に努めた。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ 地域人材の活用により、専門性の高い指導が受けられるようになり、生徒の活動意欲が高まると共に技術及び競技力の向上等が図られたこと。
- ・ 小学校でのスポーツ少年団等から中学校の部活動へと計画的・継続的な一貫した指導が受けられるようになったこと。
- ・ 「学校部活動」の指導者（部活動指導員・スポーツエキスパート等）が、「地域クラブ活動」の指導を行っているため、指導の一貫性が担保されていること。
- ・ 教員がこれまで「学校部活動」指導にあてていた放課後の時間を教材研究や採点、生徒指導や進路指導等さまざまな業務にあてられるようになったこと。→教員の在校時間が削減され、身体的・精神的な負担が減少したこと。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p><b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b></p> <p>・情報共有の連携強化が必要なことから、地域協働本部にて、部活動支援部会の推進支援員（コーディネーター）による学校、指導者、行政との情報共有強化を図り、また学校側の業務の軽減を図り、地域クラブ活動の円滑な推進を図る。</p>	<p><b>【受け皿団体の確保方策】</b></p> <p>その他の地域クラブ活動や受け皿の必要性について検証する。</p>
<p><b>【指導者の確保方策】</b></p> <p>持続可能なクラブ運営を実施していくために、クラブ活動のPRと指導者の育成について、町体育協会や各競技協会と連携を強化する。</p>	<p><b>【困窮世帯への支援方策】</b></p> <p>運営にあたり、参加費負担が必要となった場合、困窮世帯に対する支援できる体制を構築していく。</p>
<p><b>【地域移行の自走化に向けた方策】</b></p> <p>運営費の確保については、受益者負担について、検討を行っていく。</p>	<p><b>【地域特有の課題への対応策】</b></p> <p>町内中学校のみでの部活動自体の持続についても、今後、検討が必要となることから、生徒が選択が制限されることのない部活動及び地域クラブ活動の持続可能な運営についての検討を行う。</p>

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県黒部市教育委員会 担当課：教育委員会スポーツ課 電話番号：0765-54-2769
------	---

### 1. 事業の概要について

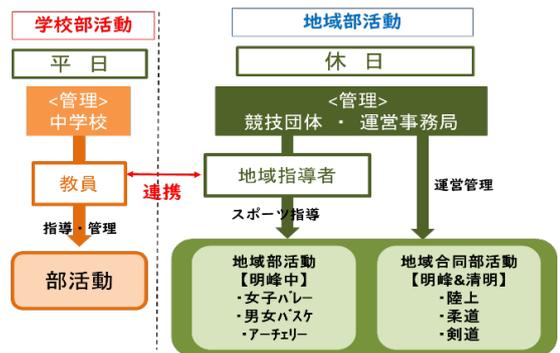
#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	2校	② 生徒数	1,081人	③ 部活動数	30部活
--------	----	-------	--------	--------	------

#### 1.2 事業概要

特徴 ①団体種目は、学校単独、個人種目は2校合同での活動を展開。  
②地域の競技協会から派遣された指導者によるスポーツ指導。

- ・生徒は任意参加。241名参加(承諾書を提出)
- ・競技協会から派遣された指導者27名
- ・教員、エキスパートや部活動指導員が指導者を兼務可。
- ・市内中学校体育館、市内外体育施設で活動。
- ・指導者報酬 1h1,600円×1日3h×1年52回(週)×2名
- ・生徒・指導者ともにスポーツ安全保険に加入。
- ・参加費として報償費に係る費用の一部、個人保険料を保護者から徴収。(1,2年生6,300円、3年生2,300円)
- ・部活動にある競技のすべての競技協会へ協力を令和5年度以降の協力を依頼。



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・あり方検討会を4回開催し、今後の方針等について検討を進めた。
- ・中体連の競技主任教員と意見交換を行った。
- ・競技ごとに、協会と顧問と市で令和5年度以降の体制について協議を実施した。(計6回)  
→令和5年度から対象競技を拡大して休日の地域部活動を実施する計画である。
- ・生徒、保護者向けに事前周知を実施した。(新生徒には中学校入学説明会で実施※2回)
- ・生徒、保護者、指導者、教員にアンケートを実施(現状の体制についての意見、要望等)  
→関係者で共有、令和5年度以降の活動の改善材料とする。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全2中学校のうち、2校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	10部活
③ 種目	バレーボール(明峰女子)、バスケットボール(明峰男子・女子)、アーチェリー(明峰) 陸上・柔道・剣道(明峰・清明)

#### 《主な取組一例》…黒部市立明峰中学校

① 運営主体	黒部市教育委員会 (指導者派遣団体：黒部市バスケット協会)		
② 種目	バスケットボール(男子)	④ 参加者数	16人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	明峰中学校体育館
⑦ 指導者人数	3人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	市バスケットボール協会に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり：6,300円/年額)		

#### 3.2 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・休日の運動部活動実施競技の拡大
  - ➡6月～7月に新たな競技協会にヒアリングと打診を行い、地域部活動の趣旨の説明および協力依頼を行った。協力いただけた新たな競技協会の代表者にあり方検討会の委員委嘱を行った。
  - 9月～10月に競技協会と指導者、学校顧問での関係者協議を、競技別に開催して、活動の方針を検討した。

・財源確保

- ➡指導者謝金等の活動にかかる費用として、保護者から参加料と個人の保険料を徴収した。  
4月にあり方検討会で決定し、その後保護者負担徴収に関わる保護者説明会を実施した。  
対象以外の生徒・保護者にも、現在の実施内容を知らせる周知を紙面で行った。

・保護者負担の増加 ➡ 就学支援世帯への参加料の支援体制を構築、令和5年度から実施。

- ・学校連携 ➡ 市中体連の競技主任と意見交換を行った。  
大会の選手選考については、平日と休日で連携をとって行った。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ①地域部活動移行に向けた地域運動部のあり方の検討（KUROBE型地域部活動あり方検討委員会の開催）  
【評価方法】：生徒・保護者・教員へのアンケート実施と検証 ➡ 【評価】：地域部活動移行について8割以上の理解  
【結果】：生徒…88%（活動に対する満足度）、保護者…98%等
- ②地域部活動移行に向けた保護者・教員への理解促進  
【評価方法】：保護者・教員へのアンケート実施と検証 ➡ 【評価】：受益者負担（保護者負担）について8割以上の理解  
【結果】：保護者…95%
- ③地域部活動移行に向けた拠点校での実践  
【評価方法】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 ➡ 【評価①】：「とても良い」「良い」の合計を8割以上  
【結果】：生徒…88%（満足度）、保護者…98%（理解度）
- ④地域部活動移行に向けた拠点校・連携校合同での実践  
【評価方法】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 ➡ 【評価①】：「とても良い」「良い」の合計を8割以上  
【結果】：生徒…88%（満足度）、保護者…98%（理解度）
- ⑤教員の時間外勤務の削減  
【評価方法】：拠点校対象部活動における土日の指導時間調査の実施➡【評価①】土日時間外勤務0時間(大会を除く)  
【結果】：対象顧問17名、402時間（1人あたり23.7時間）  
※移行前と比較して、おおよそ50%程度減
- ⑥R5年度の全部活動の地域移行に向けた調整  
【評価方法】：あり方検討会において実施体制の実現可能かどうかをその都度評価 ➡ 【評価】R5の実施体制の完成  
【結果】：R5年度から対象部活動を拡大、全ての休日運動部活動の地域移行を目指し継続調整

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【生徒の移動手段の確保】

◀課題▶  
アンケート結果などから、保護者の協力はあるものの、生徒の移動に関する負担が大きい。持続可能な体制づくりには、移動手段に関する対策が必要。  
◀今後の方策▶  
スクールバスや公共交通の活用について調査、協議

【指導者の確保、質の向上】

◀課題▶  
2中学校間で地域移行の状況に差があることから、全ての生徒が等しく地域の指導者から指導を受ける機会を確保する。指導者の資質向上のための支援体制の構築が必要。  
◀今後の方策▶  
指導者確保のため、事務局にて指導者公募を検討。研修、講習受講の機会確保。  
指導者資格取得に対する補助事業新設（R5年度予算計上）

【参加者負担の軽減（困窮世帯への支援）】

◀課題▶  
費用負担を理由とし、生徒がスポーツ活動をあきらめることのないよう、支援体制が必要。  
◀今後の方策▶  
就学支援世帯への負担軽減制度の新設（R5年度予算計上）

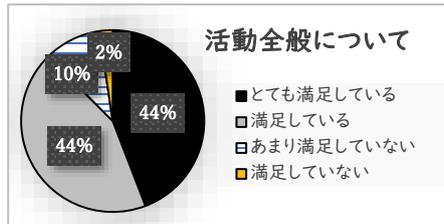
【大会参加への対応】

◀課題▶  
クラブチームでの参加が可能になることを見据え、各競技において、生徒にとって望ましい形での大会参加の方法の検討が必要。  
◀今後の方策▶  
各競技における参加要件の調査・検討、協会・中体連との協議等

## 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

《活動について ※今年度のアンケートから（令和5年1月実施）》

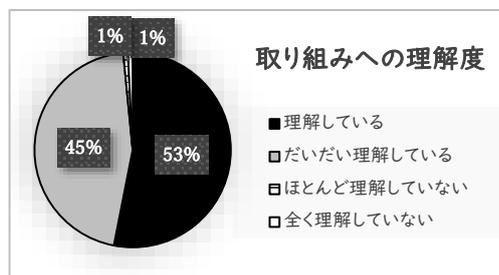
### ○生徒



・全体的には、満足している回答が多かった。

・意見には、「ずっと続けてほしい」、「細かく教えてもらえて上達を感じた」、「もっと力をつけたい」、「平日も指導に来てほしい」という意見があった。一方で、学校部活動にはなかった移動の悩み、施設環境の改善を望む声もあった。

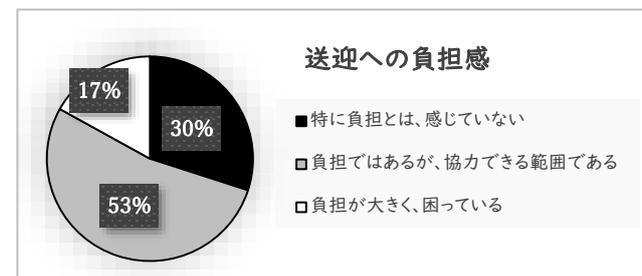
### ○保護者



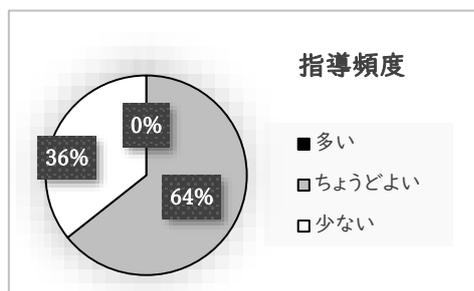
・アンケートからは、取り組みには、一定の理解をしていただけている結果であった。

・しかし、送迎への負担が依然として大きく結果に出ている。保護者の皆様の協力により成り立っているが、ご意見の中にも送迎への負担を訴える声が多かった。

・その他には、指導者の質を問う声や連絡方法に苦難を感じる声があった。



### ○指導者

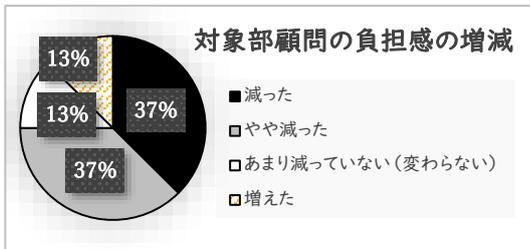


・協会（地域）と中学生でコミュニケーションがとれ、地域の一体感を感じる。将来的に競技を続けていこうという生徒に対しても支援できる。両校の生徒に同じレベルで指導ができるなど、メリットが聞かれた。

・指導者からは、指導していくには休日だけだと難しいところがある。勝ちたいと思っているアクティブな生徒に対応できる仕組みがあるとよいという意見があった。

・また、中学生への指導について聞いたところ、半数以上は、「戸惑いなく指導している」という回答であったが、一部、戸惑いを感じながら指導されていることがわかった。多感な時期である中学生を指導していく上での留意点が学べる講習や研修の場が必要である。

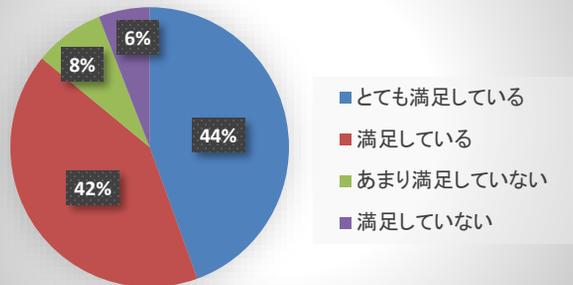
## ○顧問



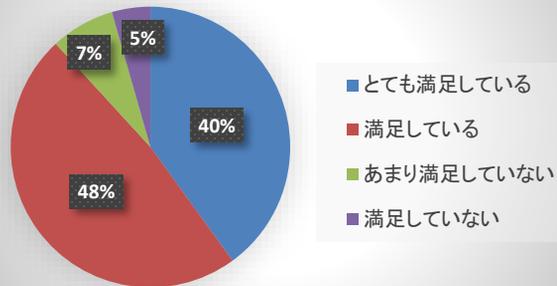
- ・現在実施している対象部活動の顧問の負担は、約4分の3の方が「減った」「やや減った」との回答。「技術指導負担が軽減した」「休日の勤務時間が減った」という声からも負担軽減に少しは成果があったと思われる。
- ・しかし、指導者との連絡調整の不都合や、地域部活動への保護者意見で立場上間に入る対応があったとの声もあった。
- ・まだ学校からの完全な切り離しではないので、少なからず学校側にも負担がある状況である。

【生徒】138名回答

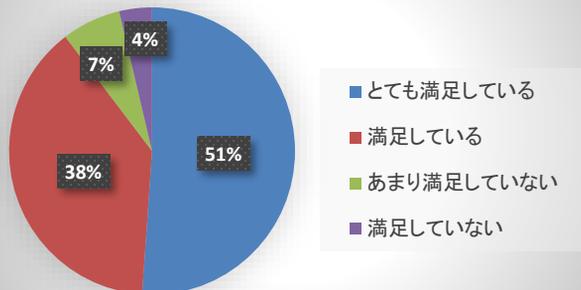
### 活動日数



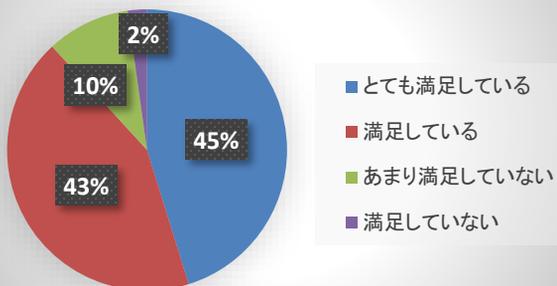
### 活動時間



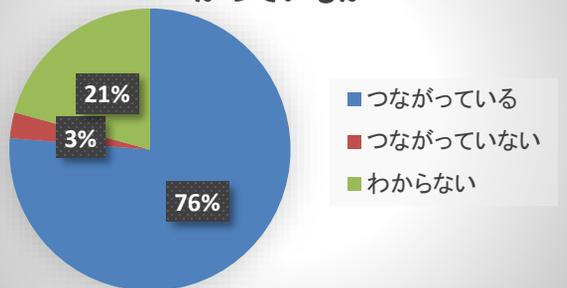
### 指導内容



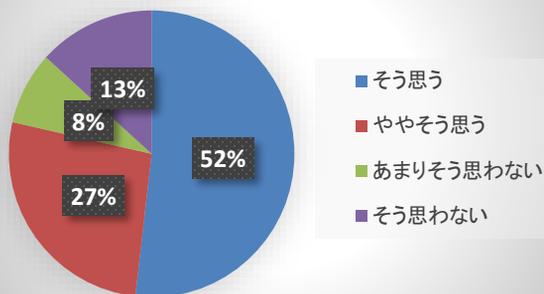
### 活動全般



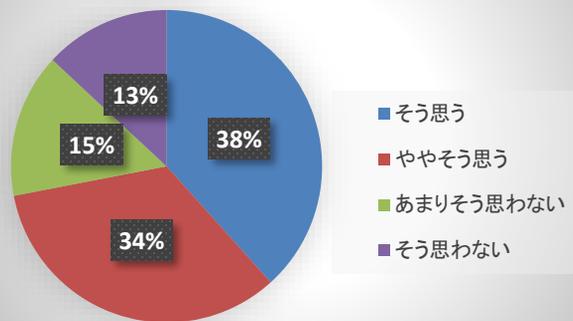
### 地域部活動が技術・意欲向上につながっているか



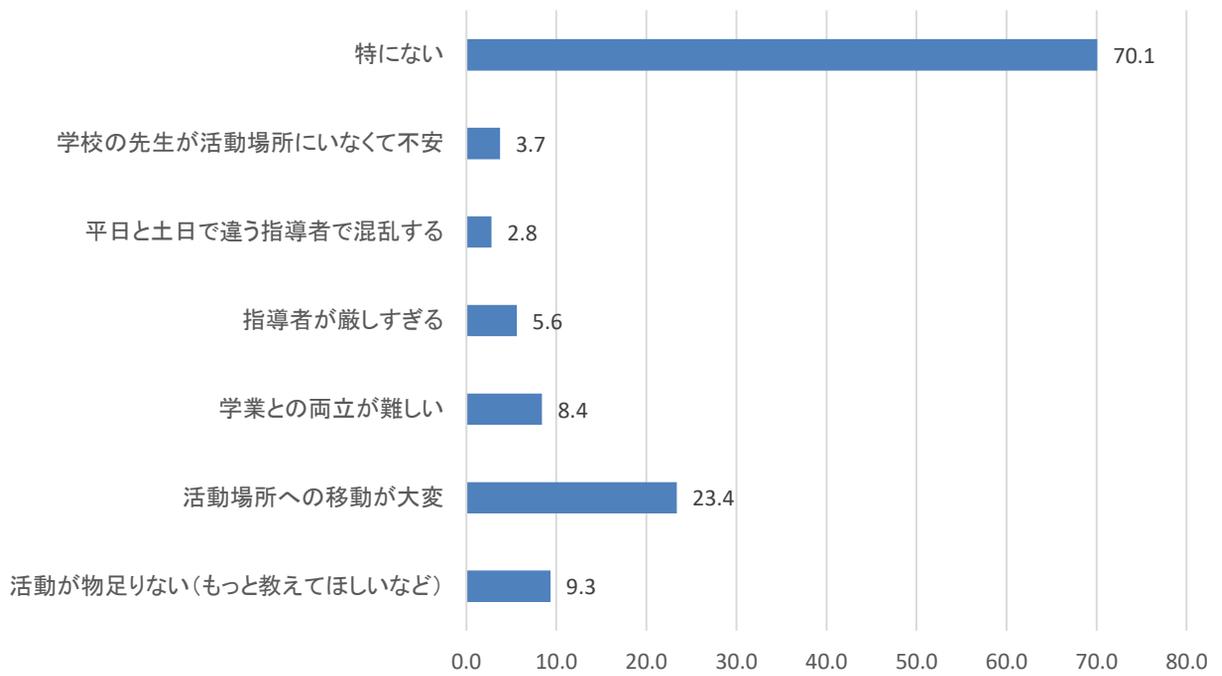
### 今後も地域部活動に参加したいか



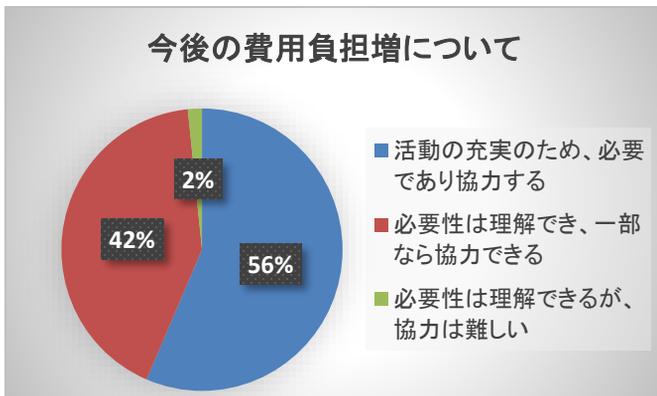
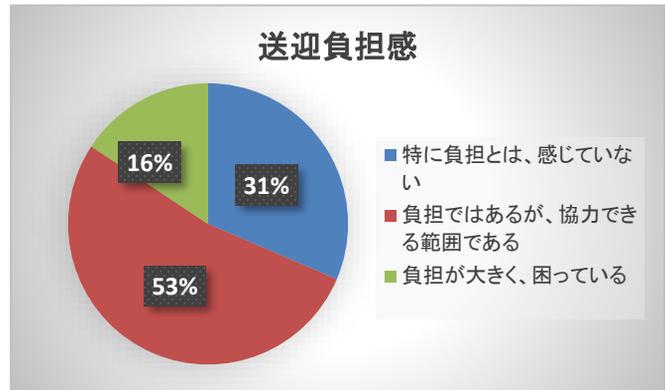
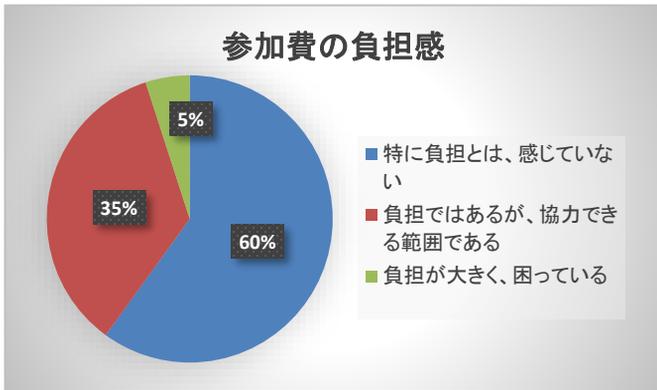
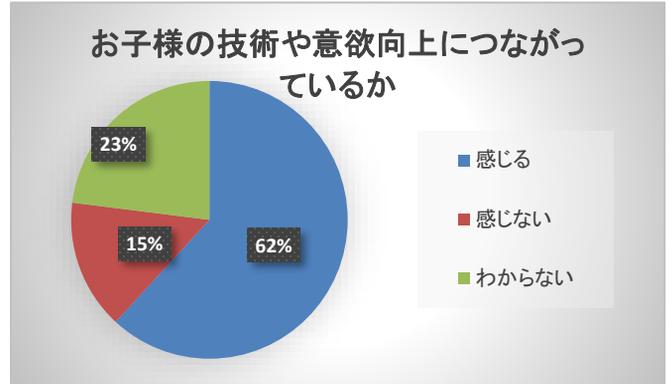
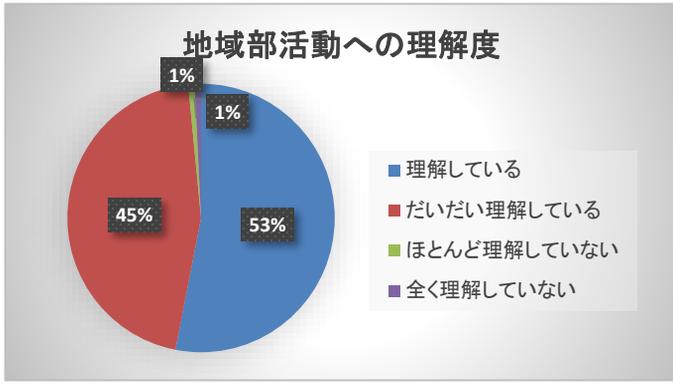
### 平日も教わりたいか



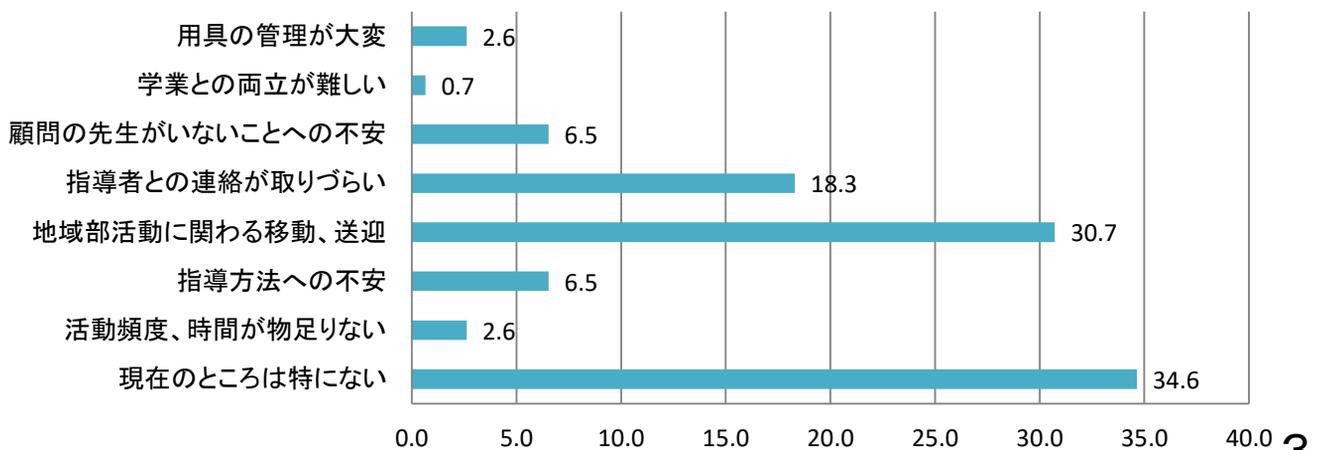
## 困ったこと、不安に思うこと



【保護者】140名回答

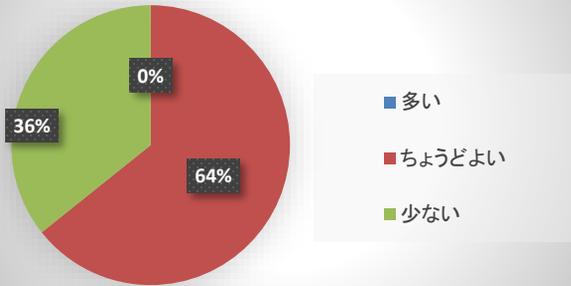


## 心配なこと、不安なこと

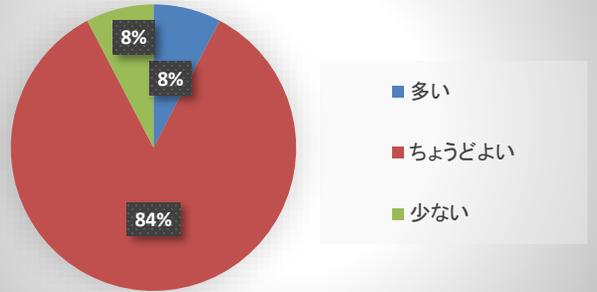


【指導者】14名回答

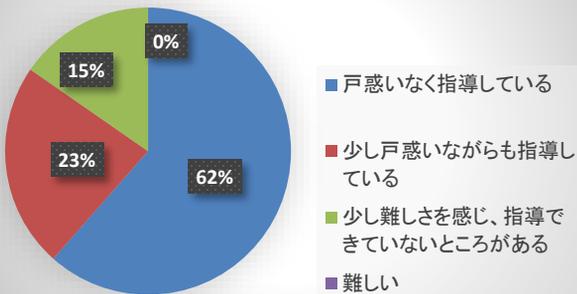
### 指導頻度



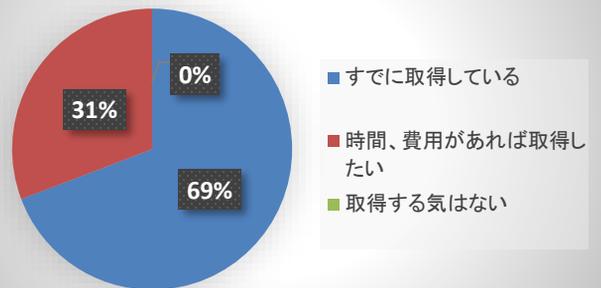
### 謝金額



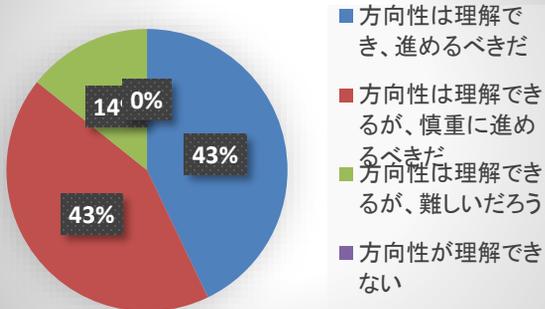
### 中学生への指導



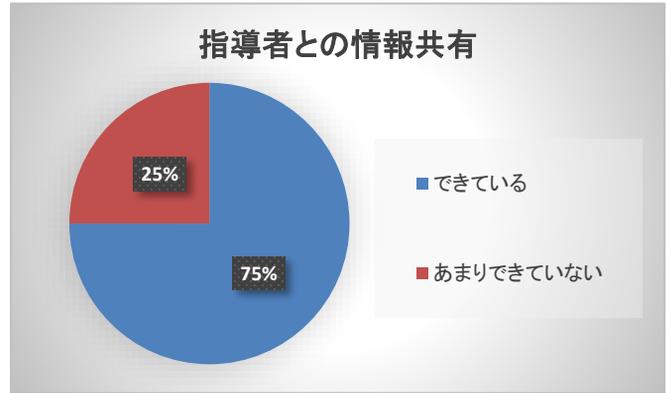
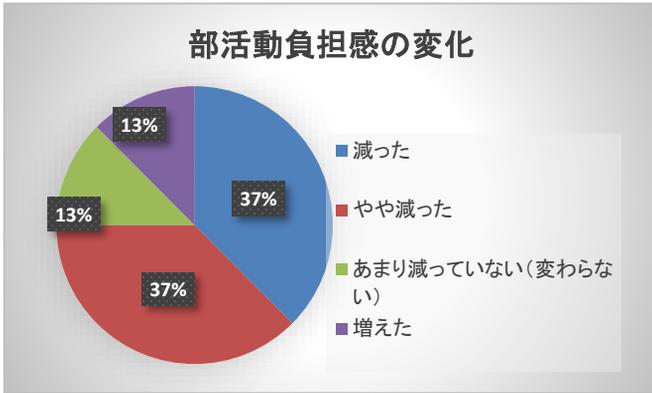
### 指導者資格について



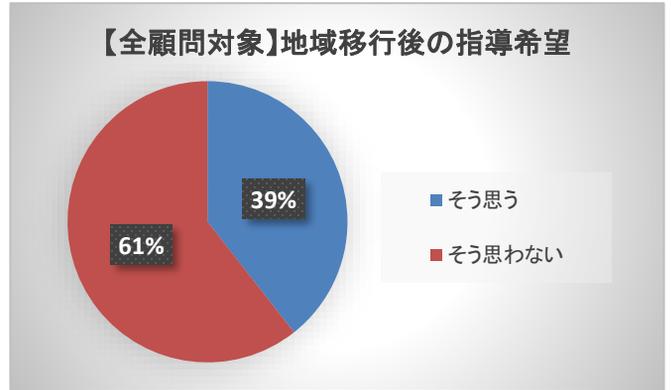
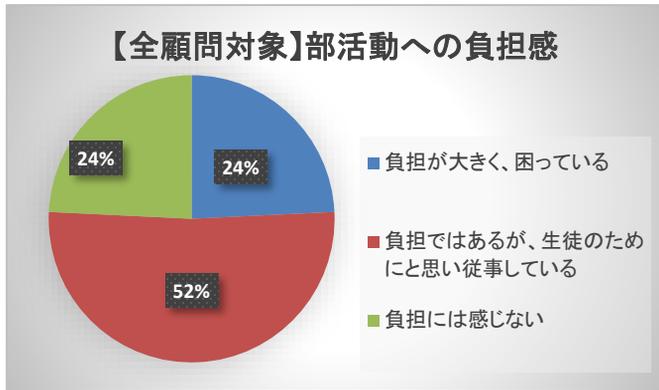
### 平日への拡大



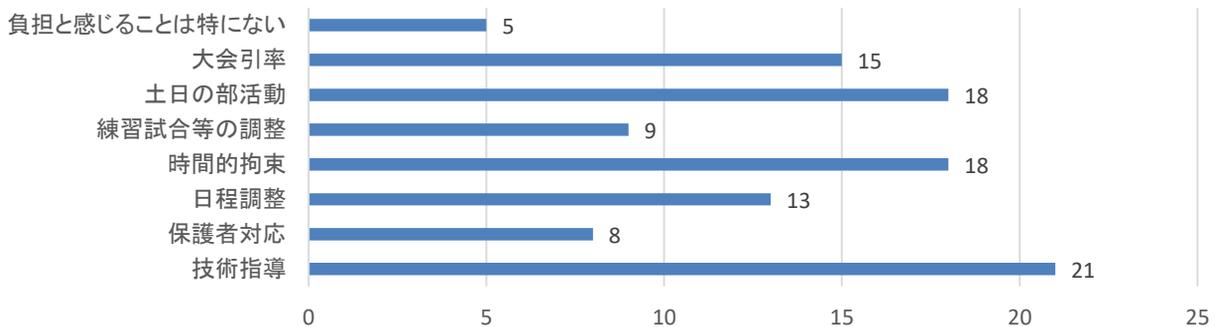
○地域部活動対象部顧問12名の回答



○対象外部活動含む顧問33名の回答



学校部活動で負担に感じること※複数回答



自治体名	富山県射水市教育委員会 担当課：教育委員会事務局学校教育課 電話番号：0766-51-6635
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	6校	② 生徒数	2,538人	③ 部活動数	82部活
--------	----	-------	--------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

（中学校の現状）

- ・ 教師の学校や学級運営、授業準備や研修等の本来の業務にあたる時間が圧迫されたり、休日の指導、大会引率、大会運営に多くの時間を取られたりしている。
- ・ 生徒数の減少に伴い、学校単位でチームを組めない競技種目が増加し、希望する部活動の選択が困難になると予想される。
- ・ 週に1日、原則として月曜日並びに土曜日、日曜日のいずれかの計2日間を休養日としている。1日の活動時間は平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末含む）は3時間程度としている。このため、競技力向上を目指す生徒の思いに寄り添うことが難しい。
- ・ 教師が専門外の種目を指導している部活動があり、成果を求められることなどが精神的にも負担となっている。また、生徒にとっては専門的指導が受けられないことにより意欲が高まらない。
- ・ 教師の指導力や熱意に差があり、教師の異動による影響が大きい。
- ・ 専門性を持つ外部指導者は会社員など常勤者が多く、学校が計画する日時での指導が難しい。このため、人材の確保も困難を極めている。

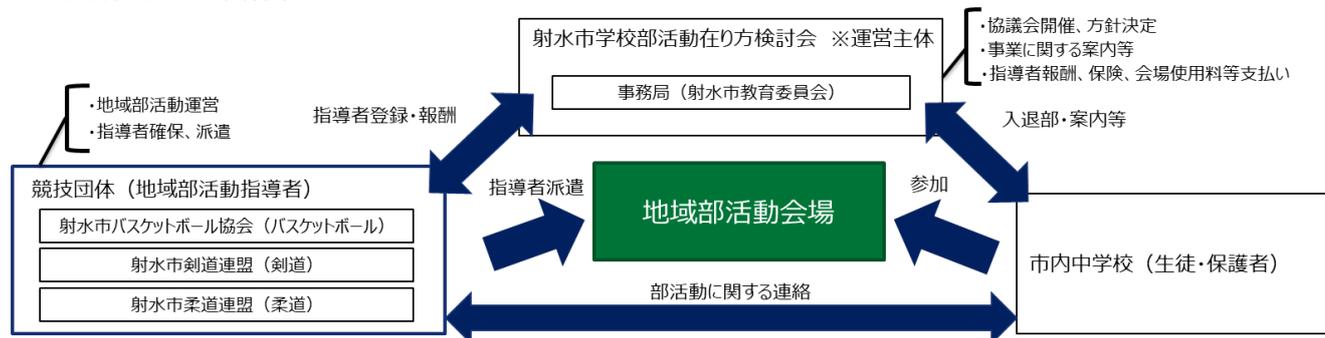
（地域活動の現状）

- ・ 学校で指導をしている外部指導者が、地域クラブの指導者となっている場合があり、地域クラブに参加した場合、生徒や保護者からみると部活動との明確な区別がつきにくい。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 学校部活動を段階的に地域移行するための体制を整備する。
- ・ モデル競技を指定し市内全6中学校を対象にした休日運動部活動の地域移行を行う。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

射水市学校部活動在り方検討会の設置および開催（2回：5月、12月）

委員 射水市中学校長会、射水市中学校体育連盟、射水市小学校長会、射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク、射水市PTA連絡協議会、射水市スポーツ推進審議会、射水市スポーツ少年団、（公財）射水市体育協会、射水市教育委員会

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全6中学校
② 実践研究に取り組んだ部活動数	26部活
③ 種目	バスケットボール、剣道、柔道

#### 《主な取組例（1）》…射水市立新湊中学校

① 運営主体	射水市剣道連盟		
② 種目	剣道（男子）	④ 参加者数	6人
④ 活動日	土、日、祝日	⑤ 活動場所	公共スポーツ施設、中学校体育館
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	射水市剣道連盟に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 《主な取組例（2）》…射水市立小杉中学校

① 運営主体	射水市柔道連盟		
② 種目	柔道（男子）	④ 参加者数	11人
④ 活動日	土、日、祝日	⑤ 活動場所	公共スポーツ施設、中学校体育館
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	射水市柔道連盟に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

（1）生徒・保護者アンケートにて「満足している」、「だいたい満足している。」と回答があった参加者の声

- ・ 専門の指導者に教えてもらえるから。
- ・ 今までやったことのないことをすることができるから。

（2）生徒・保護者アンケートにて「あまり満足していない」、「満足していない。」と回答があった参加者の声

- ・ 学校の部活動の指導者とは違うから。
- ・ 活動場所までの送迎（用具の運搬）が大変だから。

（3）部活動顧問アンケートにて「負担軽減につながった」と回答があった参加者の声

- ・ 家族との時間や自分の時間をもてるようになった。
- ・ 精神的に楽になった。

（4）部活動顧問アンケートにて「負担軽減につながっていない」と回答があった参加者の声

- ・ 部活動を負担だと感じていなかった。
- ・ 市外の学校（地域移行していない）との連絡調整が負担になった。

#### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

地域移行に関する保護者の関心は高く、大会参加の方針や今後の地域移行の予定などの質問が学校に多く寄せられることが予想された。学校側としても協議会（射水市学校部活動在り方検討会）や事務局からの連絡を受けて説明を実施することから、保護者からの質問に対し十分な回答をすることができず、学校現場が混乱することも懸念された。

本市ではそのようなことが発生しないよう、以下の対応を取り推進した。

- ① 協議会の委員に小・中学校校長会、PTA 連絡協議会の代表者を委嘱し市内小中学校や保護者に対し情報伝達を早期に実施できるような体制を構築する。
- ② 決定事項や方針については早期に決定し、在校生や新入学生への説明をできるだけ早く周知すること。
- ③ 事業の主体は市教育委員会であり、問い合わせ等は市教育委員会にするよう保護者へ案内する。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ アンケートでは地域移行については生徒の約 7 割、保護者の半数以上が、「地域部活動に満足している。」と回答し、部活動顧問の約 8 割が「負担軽減につながった。」と回答していることから、有効的な地域部活動を実施することができたと考えている。一方で、保護者の意見から①活動場所への生徒の送迎の負担②用具（剣道防具）の移動の負担③地域部活動に関する連絡システムへの不安が課題として挙げられており、対策を検討するとともに保護者へ丁寧に説明しながら理解を得ることが必要と考えている。
- ・ 「学校部活動」「地域部活動」「地域のスポーツクラブ」ともに所属している生徒の中で、大会参加等に不安や困惑を感じている生徒や保護者が複数いる。大会参加を含めた活動方針等を整理し、理解を得る必要がある。
- ・ 国の地域移行の方針に従い事業を推進していたが、日本中体連の「大会参加資格」の考えに乖離があり、地域部活動としての大会参加に係る市の取組が白紙となる事態が起きた。今後は競技ごとに異なる「大会参加資格」についても確認し、関係団体への働きかけや情報共有を密に実施しながら事業を推進する。

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

#### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

令和 5 年度から射水市体育協会と連携し指導者の派遣や会場確保といった地域部活動の運営事務を段階的に委託し持続可能な組織体制の整備を推進する。

#### 【地域特有の課題への対応策】

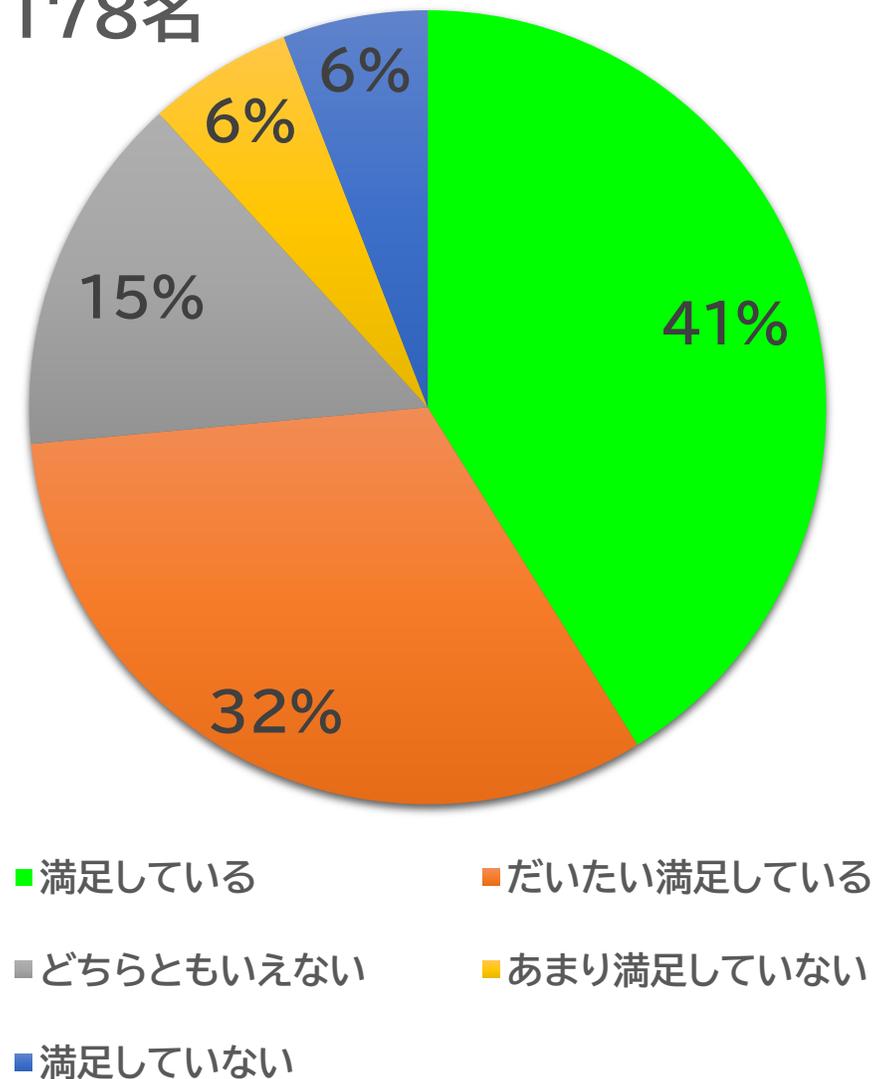
公共スポーツ施設に限りがあるため、地域移行を推進するにあたり、活動場所の不足が懸念される。令和 5 年度から、学校施設の活用も含めた活動場所の確保や運用ルールの策定等を進める。

#### 【困窮世帯への支援方策】

令和 5 年度は地域部活動の持続可能な事業実施のための経費を算出・整理し、保護者の費用負担の在り方を検討する。

# 生徒・保護者・部活動顧問アンケートの結果(12月実施)

生徒アンケート結果 満足度  
178名



「満足している」「だいたい満足している」・・・

- 専門の指導者に教えてもらえるから(97名)
- いろいろな学校の生徒と活動できるから(76名)
- 学校の部活動よりも多い人数で活動できるから(32名)
- その他
  - ・いつもよりも、きつい練習ができて強くなれるから
  - ・今までやったことのないことをすることができるから
  - ・細かく教えてくれる指導者がいるから

73%

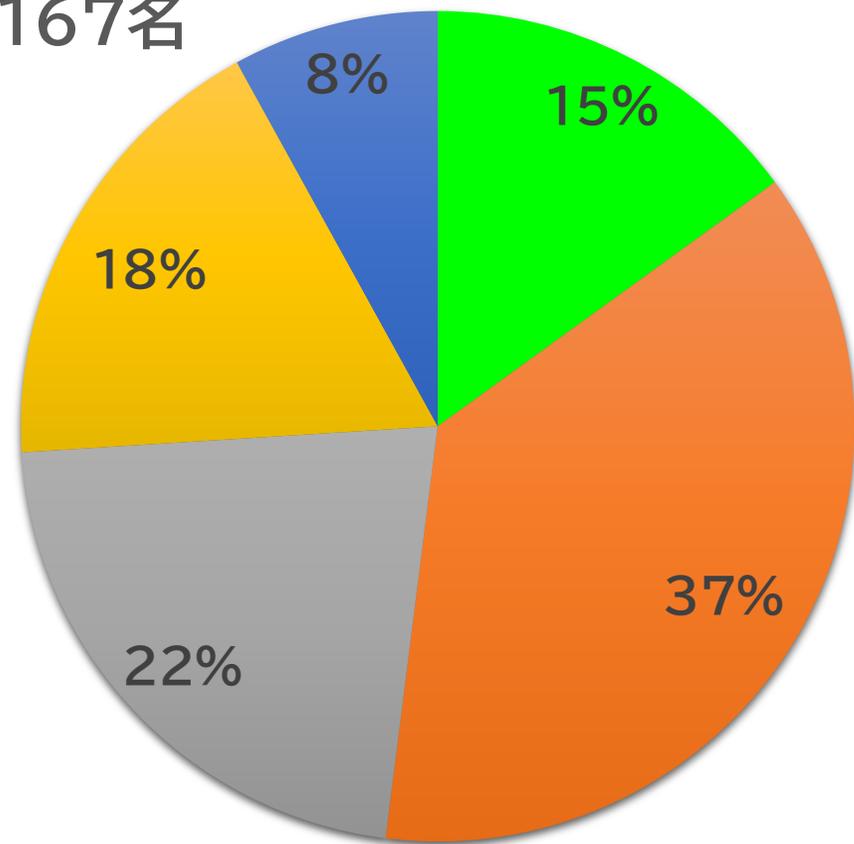
「あまり満足していない」「満足していない」・・・12%

- いろいろな学校の生徒と活動しなければならないから(11名)
- 学校の部活動の指導者とは違うから(8名)
- 学校の部活よりも多い人数での活動となるから(4名)

生徒にとっては、地域部活動は、有益な活動となっていると捉えられるが、個の気持ちに寄り添った指導を展開し、活動内容や活動方法の工夫を図っていく必要がある。

# 生徒・保護者・部活動顧問アンケートの結果(12月実施)

保護者アンケート結果 満足度  
167名



■ 満足している

■ だいたい満足している

■ どちらともいえない

■ あまり満足していない

■ 満足していない

「満足している」「だいたい満足している」… **52%**

○専門の指導者に教えてもらえるから(62名)

○いろいろな学校の生徒と活動できるから(54名)

○学校の部活動よりも多い人数で活動できるから(26名)

「あまり満足していない」「満足していない」…26%

○いろいろな学校の生徒と活動しなければならないから(5名)

○学校の部活動の指導者とは違うから(5名)

○学校の部活よりも多い人数での活動となるから(6名)

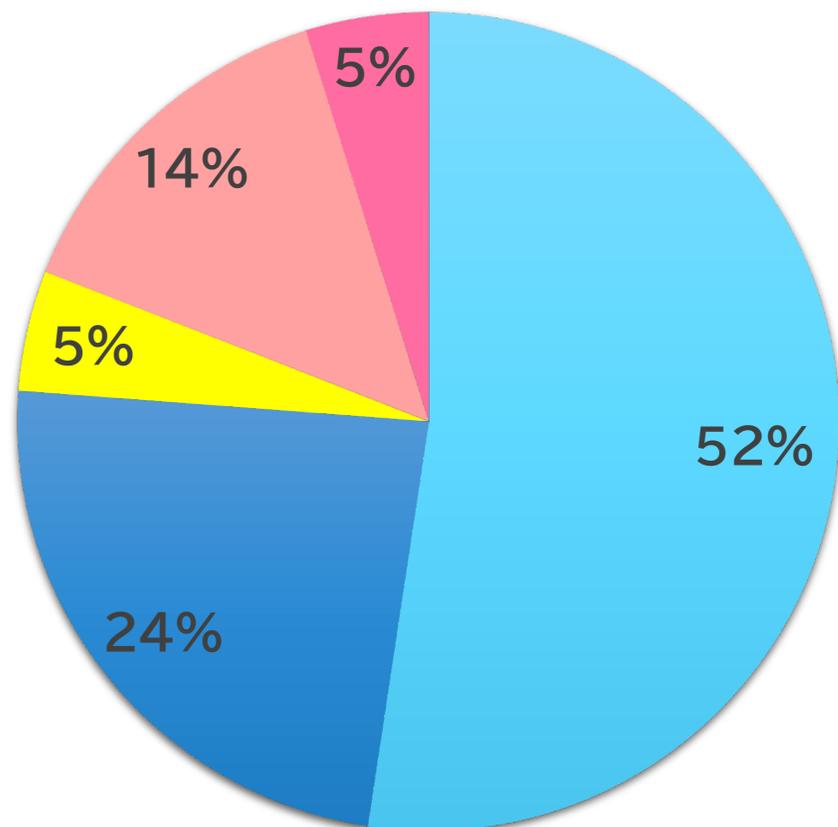
○活動場所までの送迎が大変だから(33名)

保護者の約半数は満足しているが、生徒よりも満足していない数が多い。特に、活動場所への生徒の送迎や用具の運搬に負担感をもっている方が少なくない。また、大会の参加についてや、地域スポーツクラブとの兼ね合いなど、それぞれ個別の不満感をもつ方もいる。

# 生徒・保護者・部活動顧問アンケートの結果(12月実施)

76%

## 顧問アンケート結果 負担軽減



- 負担軽減につながった
- やや負担軽減につながった
- どちらともいえない
- あまり負担軽減につながっていない
- 負担軽減につながっていない

「(やや)負担軽減につながった」・・・

○家族との時間や自分の時間をもてるようになった(15名)

○精神的に楽になった(6名)

○その他

・練習試合を組む必要がなくなった

「(あまり)負担軽減につながっていない」・19%

○部活動を負担だと感じていなかった

○他の市は地域移行していないことで調整がつかない

○平日の活動が行いにくくなった

部活動顧問の8割近くが、(やや)負担軽減につながっており、大きな成果と捉えることができる。「働き方改革」に部活動指導が関わっていることは顕著である。

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県 富山市教育委員会 担当課：学校教育課 電話番号：076-443-2135
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	25校	② 生徒数	9,980人	③ 部活動数	310部活
--------	-----	-------	--------	--------	-------

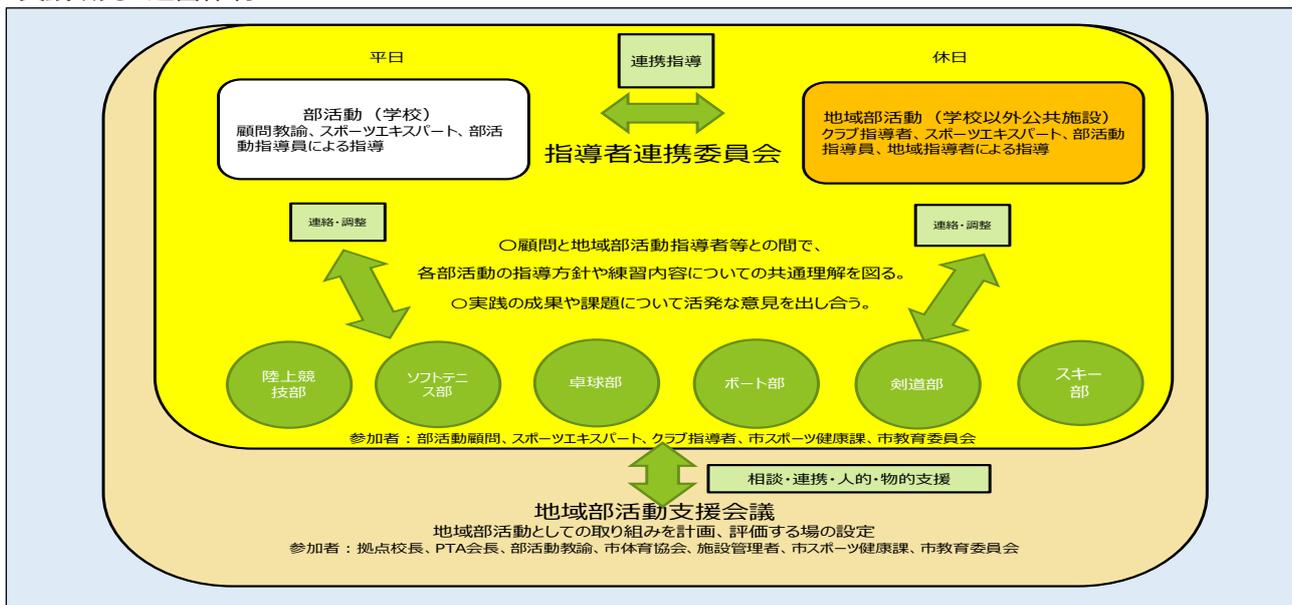
#### 1.2 地域における現状・課題

- ・富山市教育委員会では、これまで、協力いただける団体や活用が可能な施設などがある学校に対し、地域への移行に取り組むよう提案してきており、一部の学校においては、既に地域や競技団体の指導者による指導が行われている。
- ・富山市部活動ガイドラインを基に、各校でも部活動ガイドラインを作成し、生徒の健康・安全管理の充実及び教職員の働き方に変化はみられるが、地域部活動への移行に向けて取り組めていない学校、部活動が多いのが現状である。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・休日部活動において、学校以外の施設を積極的に活用することで生徒の競技力や意欲の向上を図るとともに、開錠・施錠等に伴う学校の負担軽減を図る。
- ・学校、家庭、地域とともに公共施設等において部活動を実践することで、生徒にとってよりよい部活動のあり方を探り、地域部活動のモデルを構築する。

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・地域部活動支援会議と指導者連携委員会を4回開催し、学校運営協議会委員、地域の体育協会、PTA会長等と地域クラブ指導者や部活動顧問の率直な意見交換を行った。
- ・学校以外の施設だけでなく、学校施設自体の活用を拡大する必要性、持続可能な運営を維持するための人材の確保が困難、地域クラブ指導者の確保のためには報酬も保障することが必要といった課題が挙げた。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全25中学校のうち、1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	6部活
③ 種目	陸上競技、ソフトテニス、卓球、ボート、剣道、スキー

《主な取組例（１）》…富山市立大沢野中学校

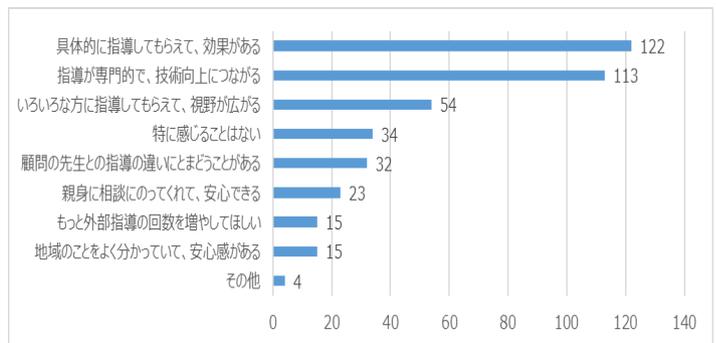
① 運営主体	かみにーず		
② 種目	陸上競技	④ 参加者数	21人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	市営大沢野運動公園陸上競技場
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	クラブ運営者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり：8,000円/年額)		

《主な取組例（２）》…富山市立大沢野中学校

① 運営主体	大沢野ジュニアソフトテニスクラブ		
② 種目	ソフトテニス	④ 参加者数	13人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	大沢野中学校テニスコート
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	県・市ソフトテニス協会に所属の指導者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり：12,000円/年額)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・生徒のアンケートによると、部活動顧問以外の指導者がいる部活動に所属する生徒の意見として「具体的に指導してもらえて、効果がある」「指導が専門的で、技術向上につながる」という意見が多く見られ、多くの生徒が効果を感じていた。
- ・保護者のアンケートの自由記述の意見の中には、「先生の負担を減らすためには、地域移行を進めたらよい」、「専門的指導が受けられるのはよい」という声が複数見られた。
- ・生徒、保護者ともに指導者の質、費用負担の増加、土日の活動の過熱化に対する不安の声が挙がっていた。



3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・実践校の近隣にあるスポーツ施設等は予約がとれず活用が難しい。予約がとれた場合は、富山市スポーツ施設条例施行規則第9条により減免対象となった。
- ・土日昼間の体育館等は部活動の割り当てで、クラブだと活用できない。富山市学校施設等開放事業の拡充が必要である。
- ・指導者、後継者の人材確保、将来的な報酬金のあり方に課題がある。
- ・現在の部活動と地域クラブの違い、保護者会の設立、活動費の徴収など、理解を求めていくことが重要である。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

大沢野中学校の部活動に所属する生徒の80%がやりがいを感じて部活動に取り組んでおり、さらに、地域指導者がいると答えた生徒では、やりがいを感じる割合が84%で、地域指導者がいない生徒より9ポイント上回っていた。部活動顧問以外の地域指導者がいることにより多くの生徒が部活動にやりがいを感じていることが分かり、地域で生徒を育てることでの効果が見られた。その一方で、「顧問の先生との指導の違いにとまどうことがある」と答えた生徒が32名おり、学校と地域クラブとの連携の必要性を感じる結果も見えた。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

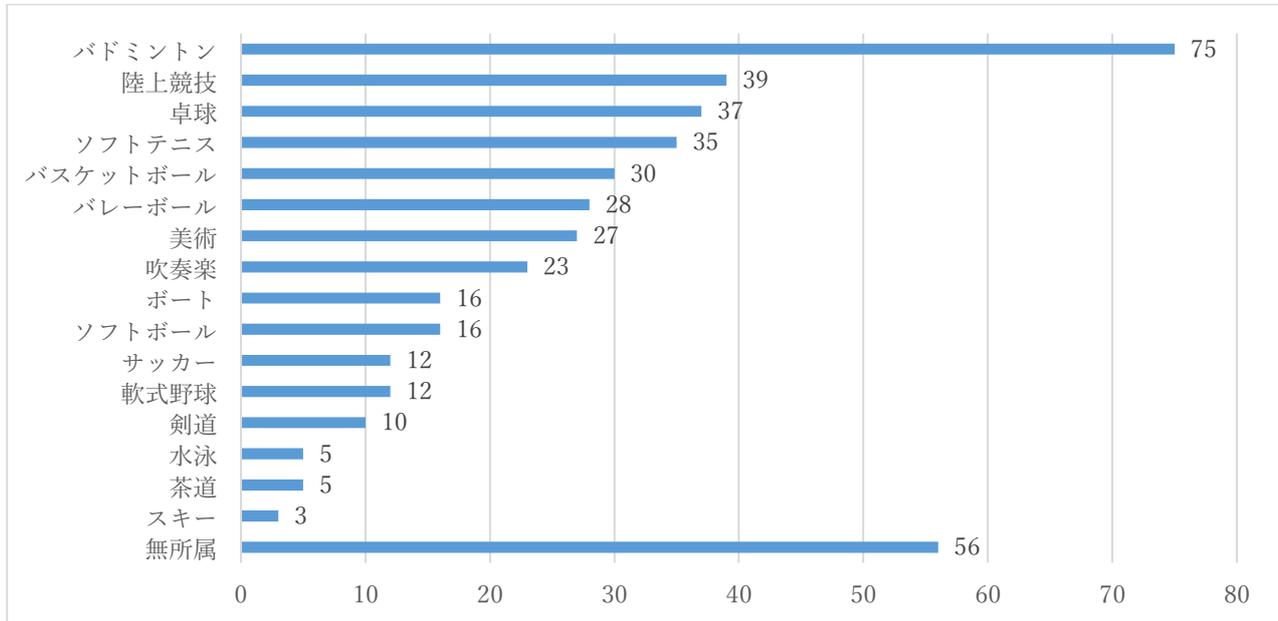
<p><b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b> 学校と地域クラブが互いの認識の共有を図り、よりよい連携について検討する協議会の設置</p>	<p><b>【受け皿団体の確保方策】</b> 学校と地域が連携し、地域一帯となって生徒を支援する体制を構築するための連携調整を図るコーディネーターの配置</p>
<p><b>【指導者の確保方策】</b> 教員や外部指導者を対象とした部活動やクラブにおける適切な指導についての研修会の開催</p>	<p><b>【地域特有の課題への対応策】</b> 研究結果や実践例等について、適宜、生徒や保護者への情報提供や意見の収集などを行いながら、当事者間での共通理解</p>

## 大沢野中学校における部活動についてのアンケートの結果

### 【生徒アンケート】

回答数：419（1年150名、2年141名、3年128名）

○問1 所属している（していた）部活動は何ですか。（複数回答可）

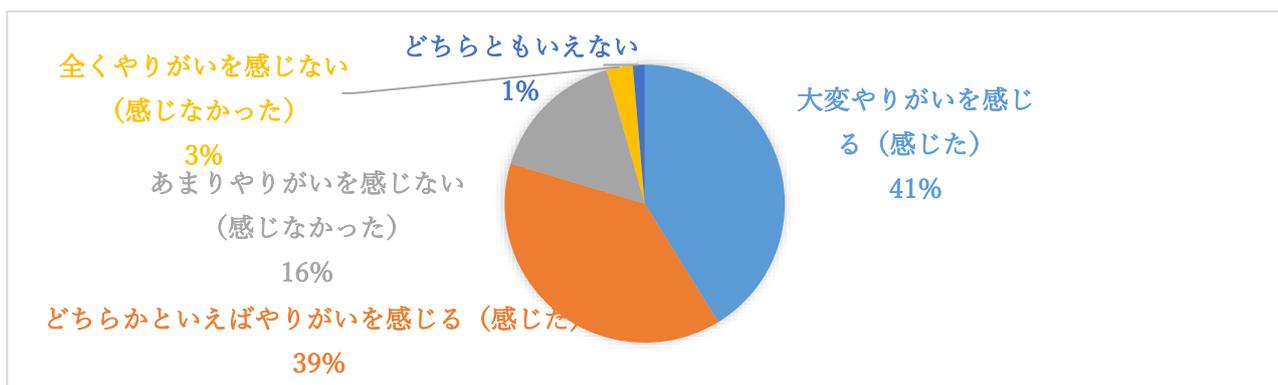


部活動に所属している（していた）人に聞きます。

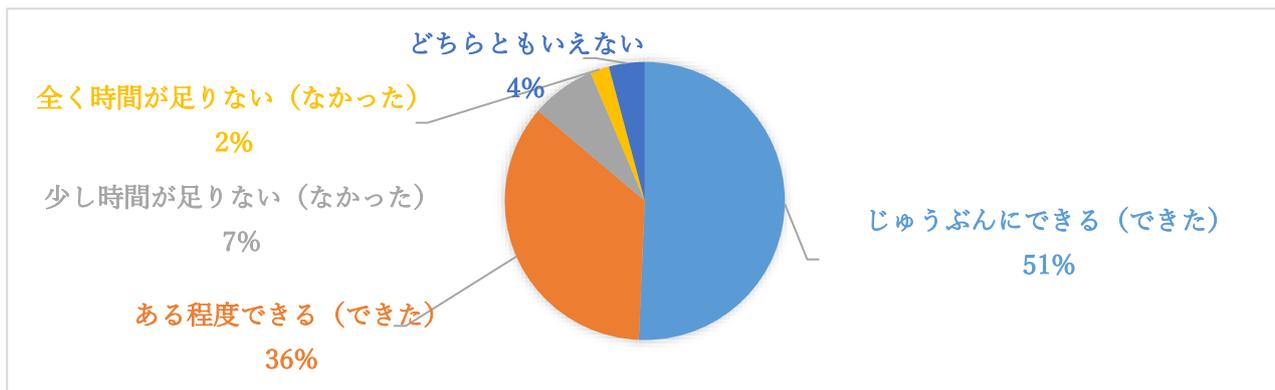
○問2 部活動に毎日参加していますか（参加していましたか）。



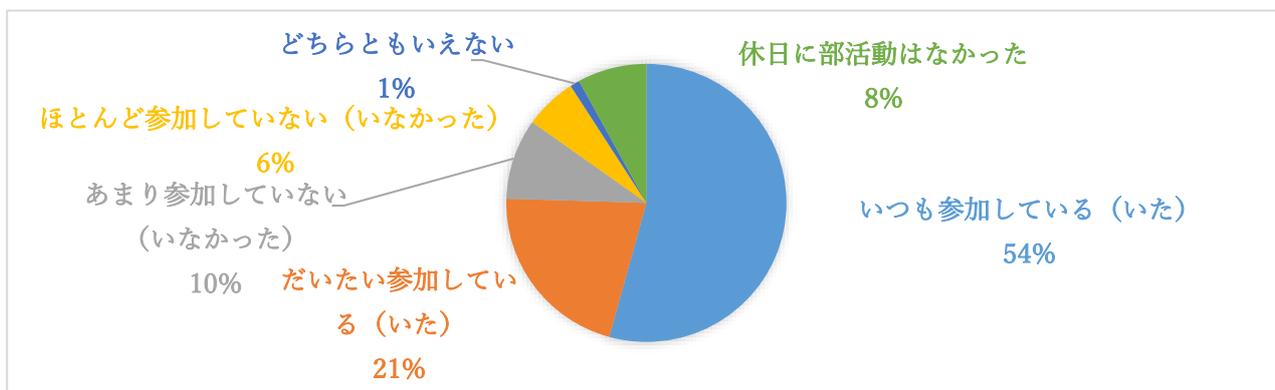
○問3 部活動にやりがいを感じますか（感じましたか）。



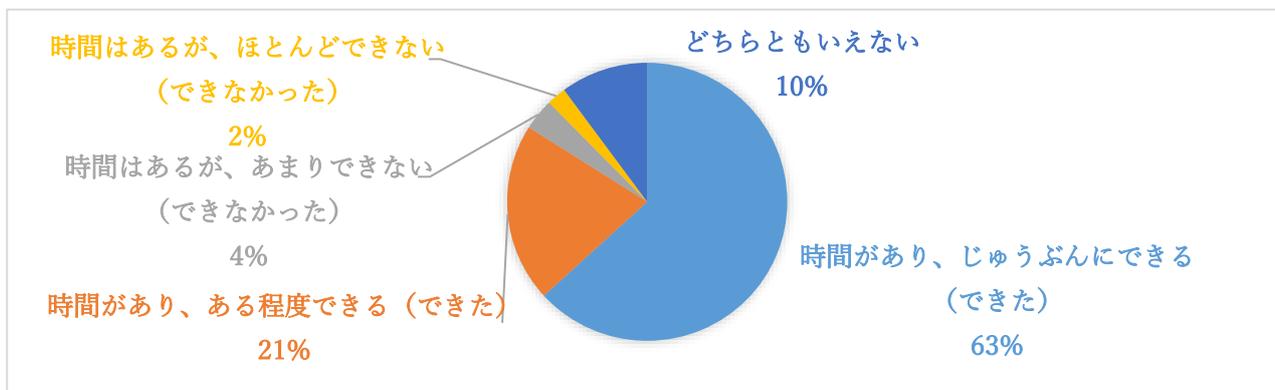
○問4 平日（放課後）の部活動は、じゅうぶんに活動できますか（活動できましたか）。



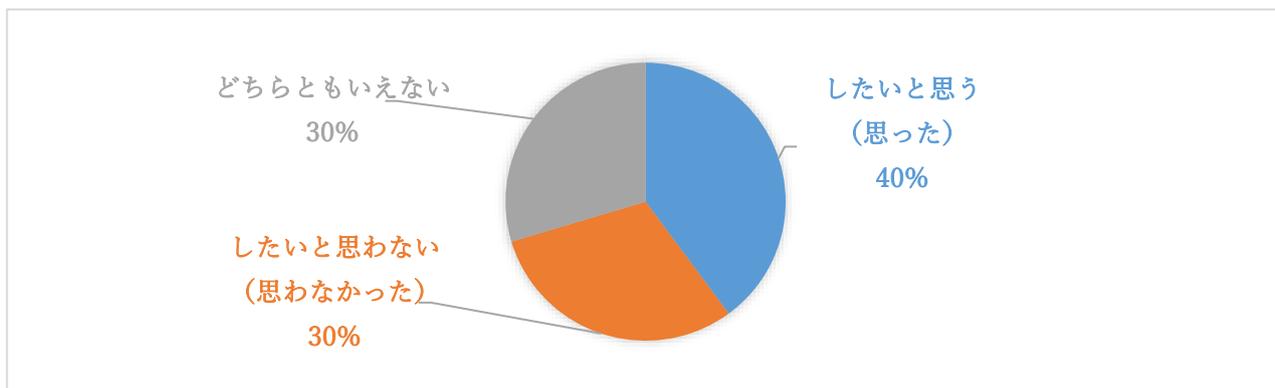
○問5 休日（土日祝）の部活動にも参加していますか（参加していましたか）。



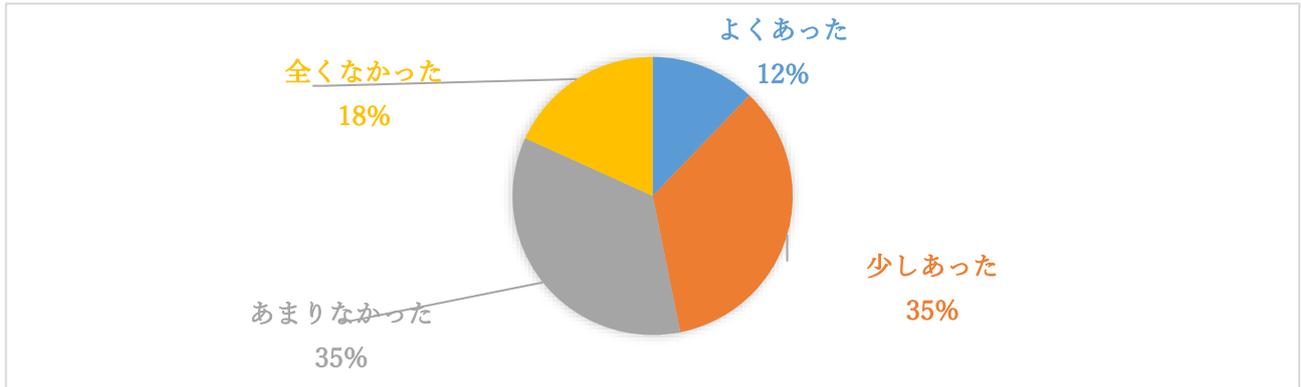
○問6 休日（土日祝）の部活動は、じゅうぶんに活動できますか（活動できましたか）。



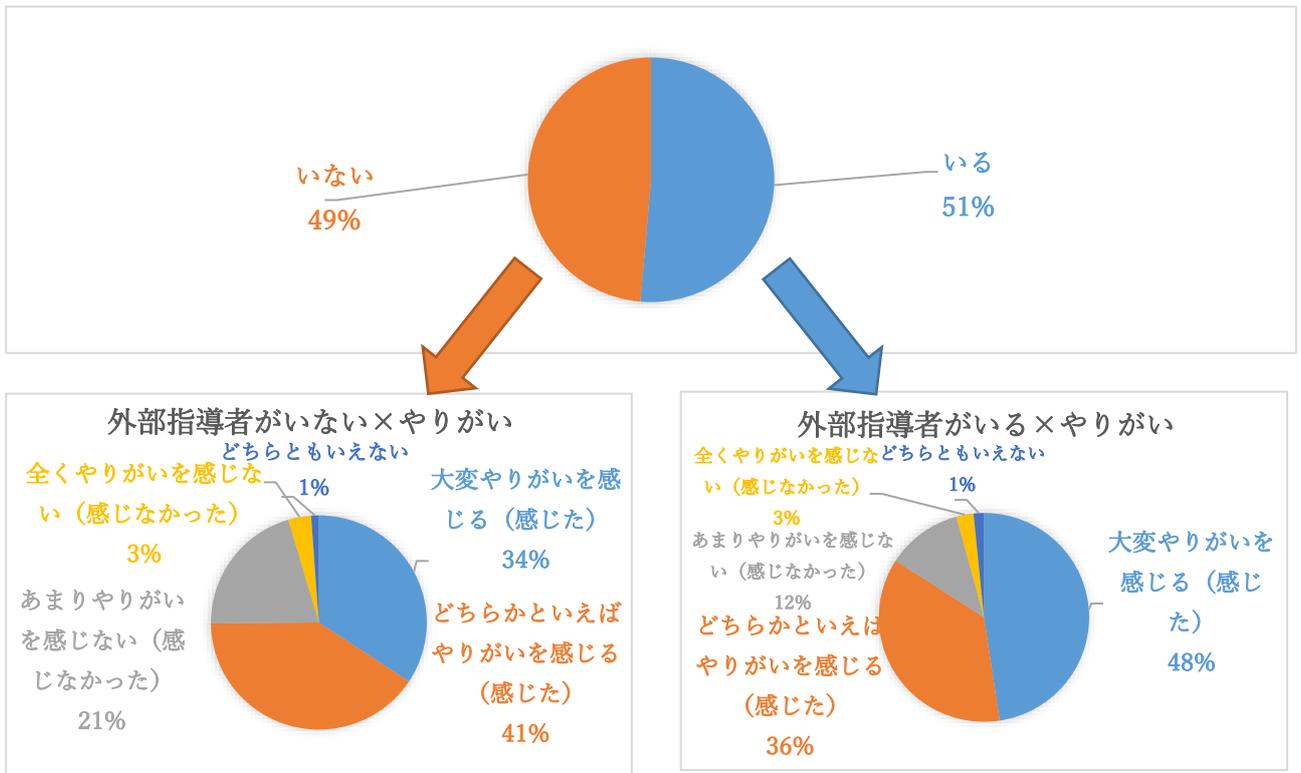
○問7 休日（土日祝）に部活動をしたしたいと思いますか（思いましたか）。



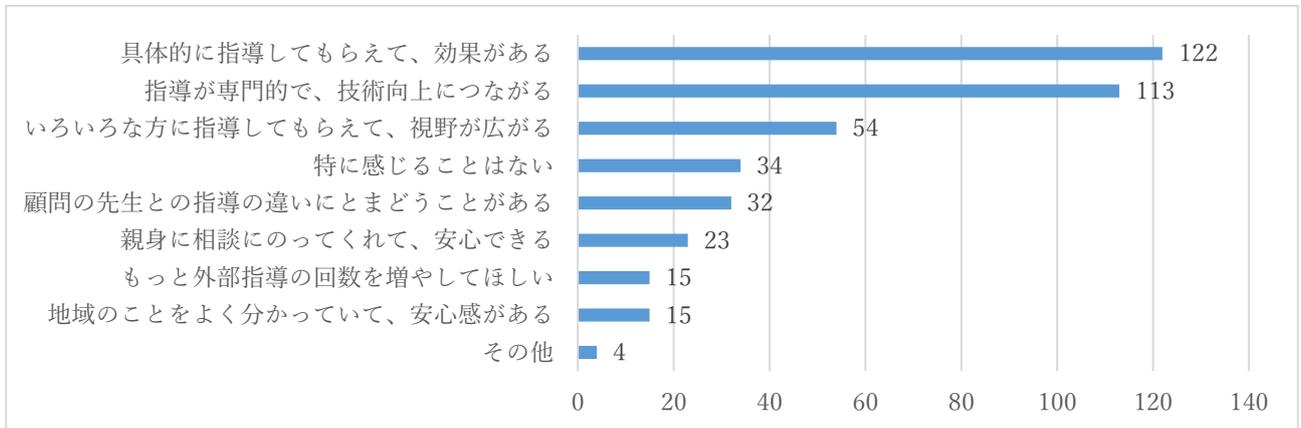
○問8 新型コロナウイルスの影響で部活動が満足にできないことがありましたか。



○問9 あなたの部活動には、顧問の先生以外の外部指導者はいますか。

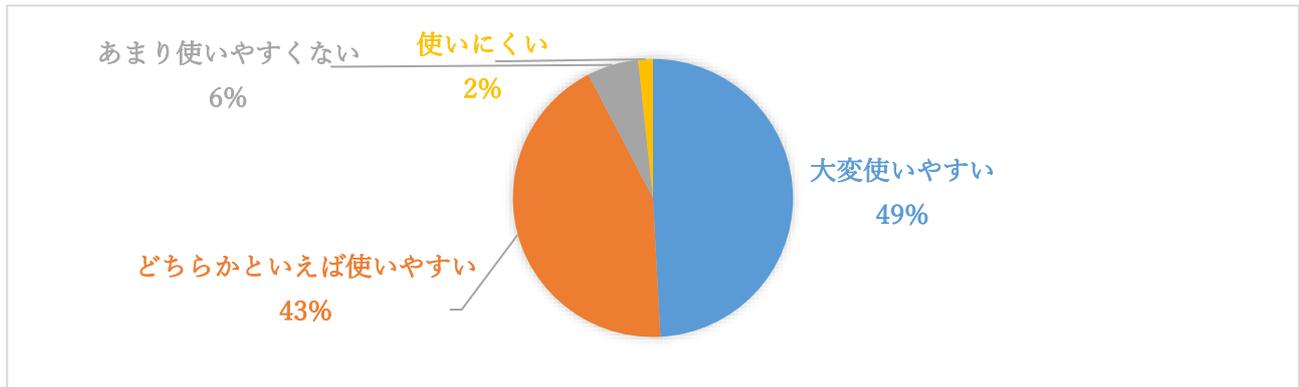


○問10 外部指導者の方の指導をどう感じますか。(複数回答可)



- (その他)
- ・口が悪い。
  - ・生徒を外見で判断している。
  - ・いじりがうざい。
  - ・話が長い。

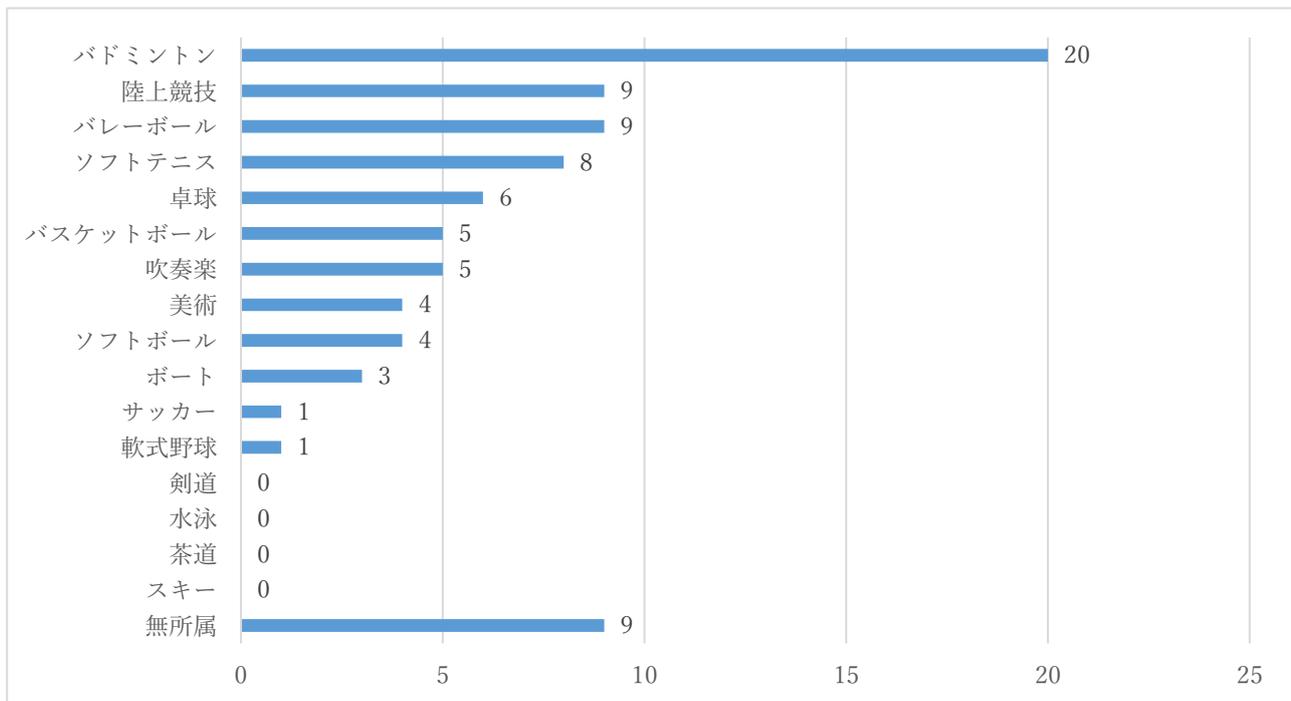
○問1 1 部活動で使う学校以外の施設は使いやすいと感じますか。



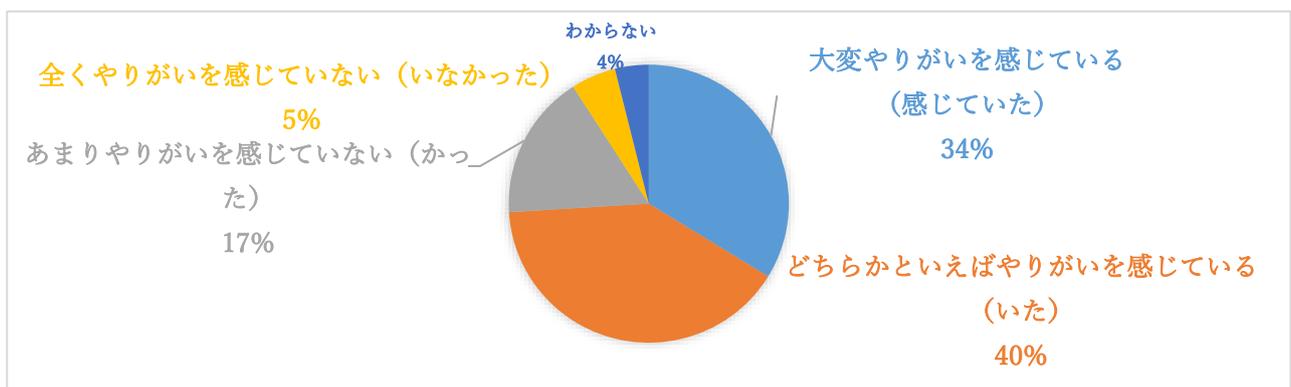
【保護者アンケート】

回答数：84 （1年31名、2年41名、3年20名）

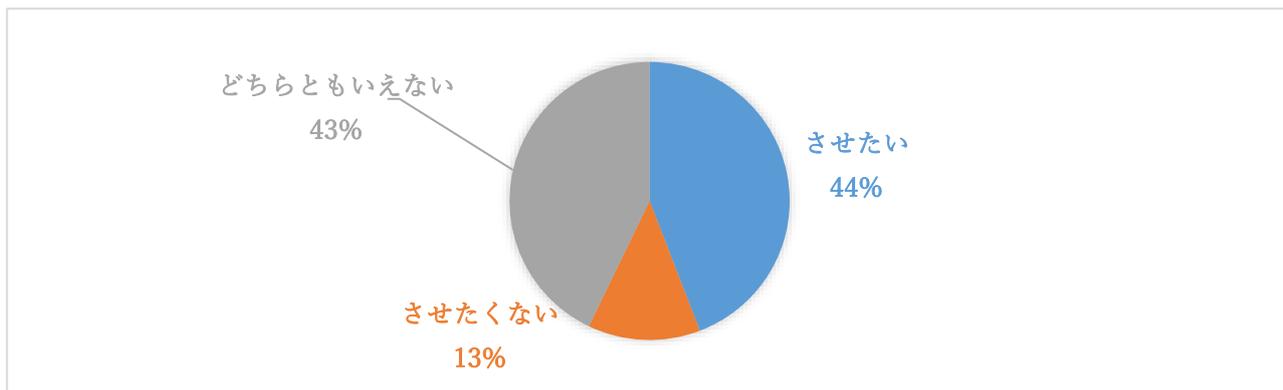
○問1 お子さんが所属している（していた）部活動は何ですか。（複数回答可）



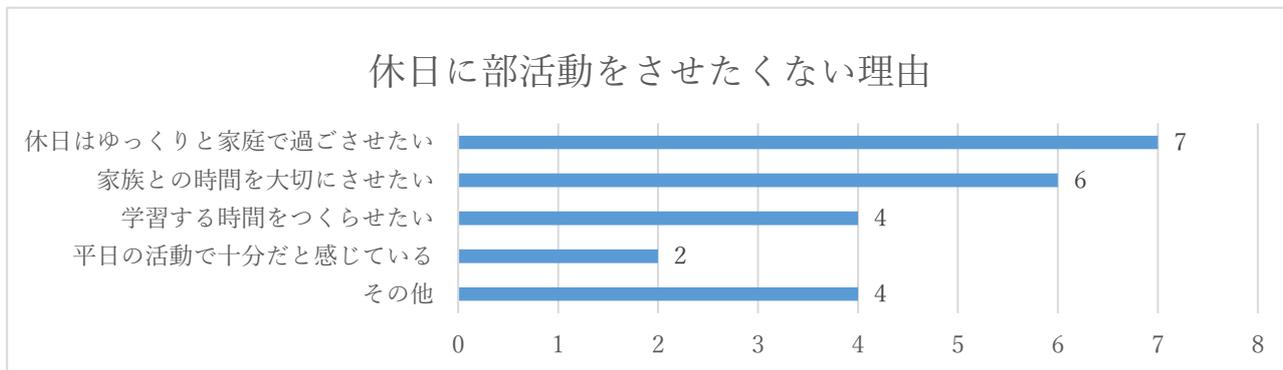
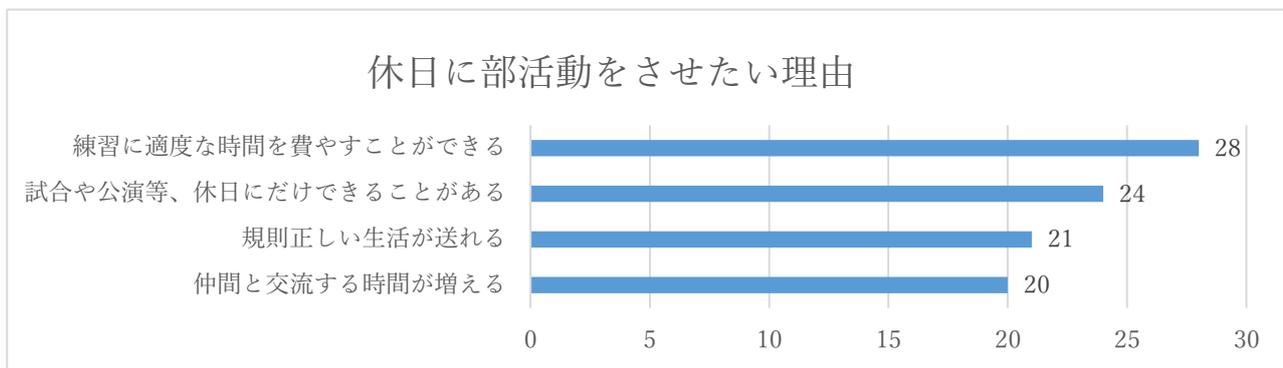
○問2 お子さんは部活動にやりがいを感じている（いた）様子ですか。



○問3 休日（土日祝）に部活動をさせたいと思いますか。

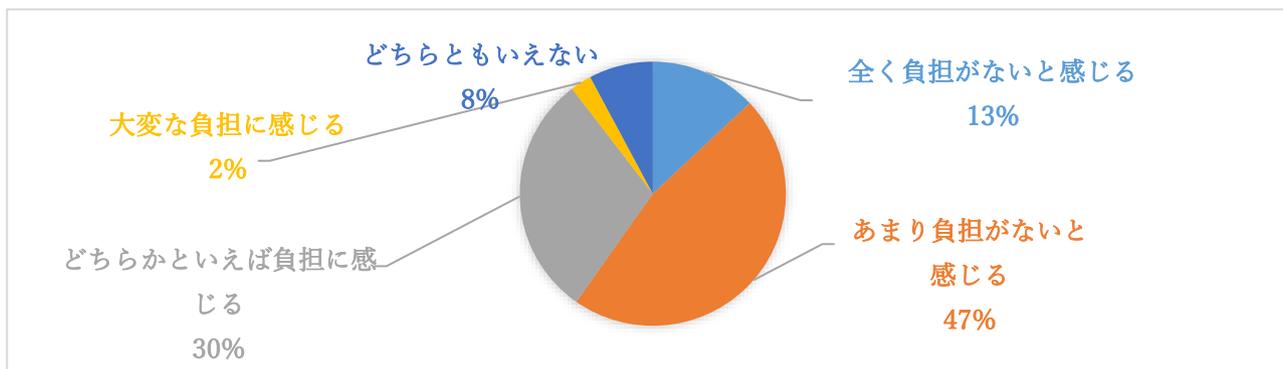


○問4・問5 休日に部活動をさせたい理由・させたくない理由に近いものを選んでください。

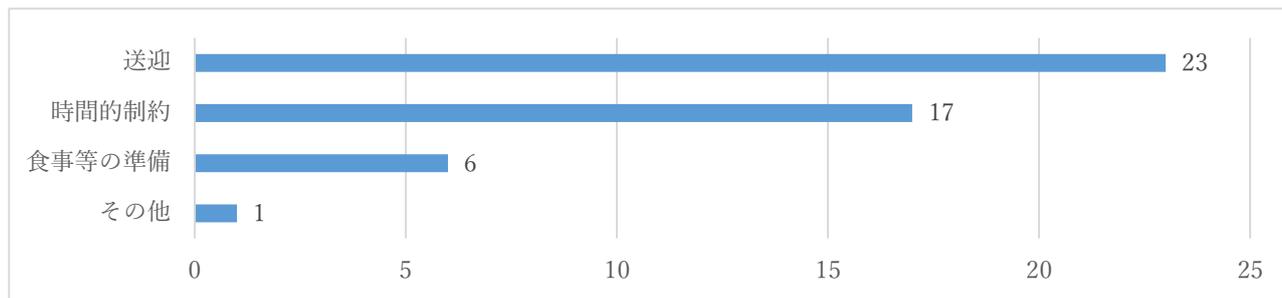


- (その他)
- ・送迎が大変。
  - ・生徒の参加人数が少ないから。
  - ・他の習い事など、いろいろな活動に取り組ませたい。
  - ・試合の場合は休日もありだと思う。

○問6 休日の部活動の保護者の負担についてどう感じますか。

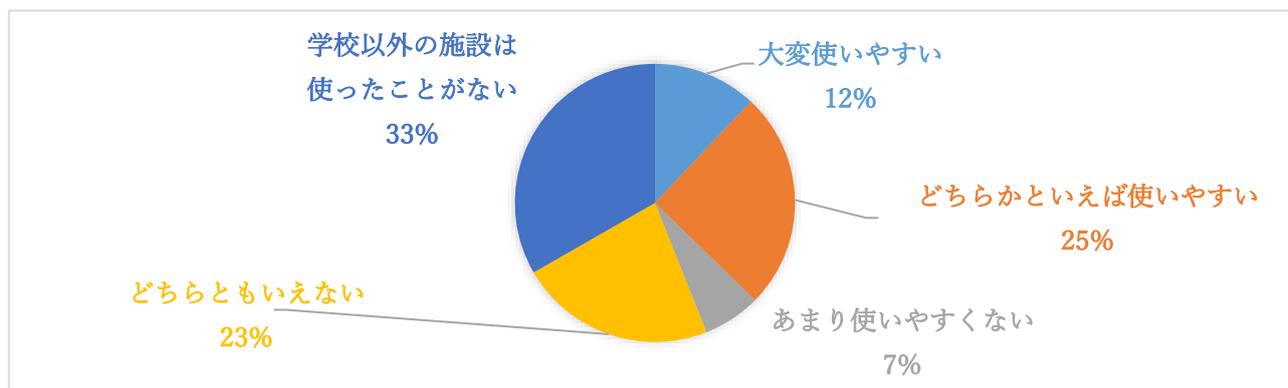


○問7 どのような部分で負担を感じますか。(複数回答可)



(その他) ・試合など送迎は仕事もあるので負担。予定日の一か月以上前には知りたい。

○問8 部活動で使う学校以外の施設は使いやすいと感じますか。



# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県小矢部市教育委員会 担当課：教育委員会教育総務課 電話番号：0766-67-1760
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	4校	② 生徒数	611人	③ 部活動数	38部活
--------	----	-------	------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

生徒数の減少が進む中、部員数の減により、団体競技においてはチーム編成ができない状況となり、廃止となる部活動が増えてきている。個人競技においても、練習相手が確保できないため、部活動として成立しない状況が生じてきている。加えて、大会での上位入賞や、より高度な技術習得を求める生徒がいる一方、単に仲間とともに楽しく体を動かし運動したいと考える生徒や運動に関心のない生徒などが増えており、二極化が進んでいる。教員についても、社会環境が変化していく中で、生徒指導や保護者及び地域からの多様な要望に応えるため、部活動への対応については時間外勤務で対応せざるを得ないケースが多い。近年は、教員数も減ってきており、ほとんどの部活動において競技経験のない教員が部活動の顧問にならざるを得ない状態となっている。

#### 1.3 実践研究における取組目標

①対象部活動の顧問教員の負担軽減を図る。

検証方法：実践事業期間中の対象部活動顧問の休日部活動に係る勤務時間数を確認。（前年比30%以上の削減）

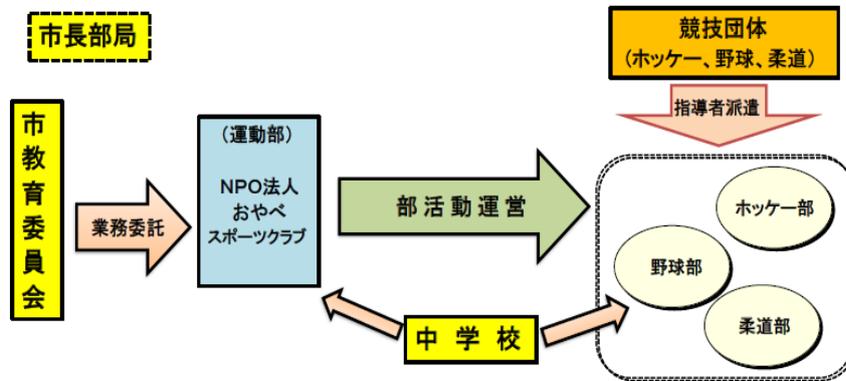
②関係者（生徒、保護者、教員）の満足度向上を図る。

検証方法：対象部活動に所属する生徒、保護者及び顧問に対して、実践事業に関するアンケート調査を実施。（総合的な満足度60%以上）

③部活動加入生徒の参加率向上を図る。

検証方法：月次実績報告により、全対象部活動の加入者数に対する参加者数の割合を確認。（参加率50%以上）

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・NPO法人おやべスポーツクラブと業務委託契約を締結し、事務作業含めた部活動運営を依頼。（コーディネート）
- ・事業関係団体を委員とした「部活動地域移行検証委員会」を開催し、今年度実施したそれぞれの部活動の実施状況を検証し、令和5年度事業拡大へ向けての課題を協議・整理。（12月、2月開催）

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全4中学校のうち、4校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	10部活
③ 種目	ホッケー（男女4中合同）、野球（2中合同）、野球

#### 《主な取組例（1）》…小矢部市立石動中学校

① 運営主体	NPO法人おやべスポーツクラブ		
② 種目	男子ホッケー	④ 参加者数	8人
④ 活動日	土日のうちいずれか1日	⑤ 活動場所	小矢部ホッケーフィールド

⑦ 指導者人数	3人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,200円/時間
⑨ 指導者属性	県(市)ホッケー協会に所属の指導者3名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	無		

《主な取組例(2)》…小矢部市立蟹谷中学校

① 運営主体	NPO法人おやバススポーツクラブ		
② 種目	野球	④ 参加者数	8人
④ 活動日	土日のうちいずれか1日	⑤ 活動場所	蟹谷中学校グラウンド
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,200円/時間
⑨ 指導者属性	市野球連盟に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	無		

3.2 参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等)

- ・ 従来よりも専門性の高い指導を受けることができています。さらに、複数校による合同部活動として実施している競技については、他校の生徒と交流する機会ができたことから切磋琢磨できる環境となった、等喜びの声があった。(生徒、保護者)
- ・ NPO法人おやバススポーツクラブが委託先にあることで、細かな作業(指導者の活動実績報告等)が不要となり、教員の負担が軽減された。各競技団体とおやバススポーツクラブの連絡体制が構築された。(学校、指導者)

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ やる気のありすぎる指導者が多く、土日祝日ともにフルに活動したいと思っている競技団体がある。部活動のガイドラインに沿った運用を求めていくことが今後も重要であり、周知徹底の機会を随時設けていく。
- ・ 平日の顧問と休日の指導者のつながりは非常に重要であるが、競技により担当業務の線引きが異なることについては、定期的に市、学校、競技団体等と情報の共有を図る。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

①対象部活動の顧問教員の負担軽減を図る。

結果：どの部活動においても顧問教員の負担が軽減された。全体的に6割以上削減。土日の時間外勤務は未だ続いている状況であったが、部活動での勤務ではなくほかの活動に要する勤務であった。

②関係者(生徒、保護者、教員)の満足度向上を図る。

結果：生徒、保護者ともに、おおむね満足している。総合的な満足度60%以上は達成。保護者負担については、ほとんどの保護者が費用負担を理解している状況であった。

③部活動加入生徒の参加率向上を図る。

結果：新型コロナウイルス感染による欠席、公式戦終了後のホッケー部3年生の参加率の低下等の影響もあるが、ほとんどの競技について参加率が70%以上であった。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p><b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b></p> <p>引き続き、NPO法人おやバススポーツクラブと業務委託契約を締結し、学校、競技団体等の連絡調整体制を構築していく。</p>	<p><b>【受け皿団体の確保方策】</b></p> <p>NPO法人おやバススポーツクラブ、市体育協会と連携し、各競技団体と情報の共有を図り、段階的に受け皿を確保していく。</p>
<p><b>【指導者の確保方策】</b></p> <p>市単独の補助金(競技力向上対策事業補助金)について、各種スポーツ団体の会合等で周知し、指導者の増に努める。</p>	<p><b>【困窮世帯への支援方策】</b></p> <p>困窮世帯に必要な経費項目・金額の調査を段階的に実施していく。</p>
<p><b>【地域移行の自走化に向けた方策】</b></p> <p>本市特有のホッケー競技については、県(市)ホッケー協会が中心となって、本格的な移行に向けて体制を構築していく。</p>	<p><b>【地域特有の課題への対応策】</b></p> <p>4中学校ともに、生徒数が減少していることから、部活動の地域移行を含めた学校再編の議論を展開していく。</p>

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	滑川市教育委員会 担当課：スポーツ課 電話番号：076-475-1484
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	2校	② 生徒数	820人	③ 部活動数	28部活
--------	----	-------	------	--------	------

#### 1.2 地域における現状・課題

滑川市内2つの中学校に全28の運動部が設置されており、15部でスポーツエキスパートや部活動指導員が指導に携わっており、全国大会やブロック大会等に出場するなど成果を出してきた。一方で、年々生徒数の減少や在籍生徒の市内外のクラブチーム等への加入により、各部における部員数が減少しており、部によっては、単独で大会に出場することが難しい状況にある。また、生徒数減少に伴う教員数の削減により、顧問の配置も難しい状況になっている。

市内には総合型スポーツクラブが1つあり、幅広い年齢層を対象にした教室等を開設している。しかし、年々加入者の減少が続いており、各教室の指導者の確保についても年々難しくなっている。市内各競技団体等においては、スポーツ少年団等の既存のチームの指導のため、部活動の地域移行に伴う新たな体制づくりが難しくたり、指導者の確保が難しい状況である。

以上のこと等を踏まえ、子どもたちが自主的・自発的に継続してスポーツに親しむことができる環境・機会の確保・充実のため、地域で支え、育てる滑川市型の地域部活動のあり方を検討するとともに、教員の働き方改革を踏まえた部活動における指導負担等の軽減を図ることを目指すこととした。

#### 1.3 実践研究における取組目標

##### 【目標および検証方法】

① 地域移行に向けた地域運動部活動のあり方の検討、検証

② 地域移行に向けた拠点校での地域指導者による指導の実施

検証方法：生徒、保護者、指導者、担当顧問へのアンケート調査・ヒアリング調査  
⇒地域部活動の満足度「良い」「やや良い」の合計が60%以上

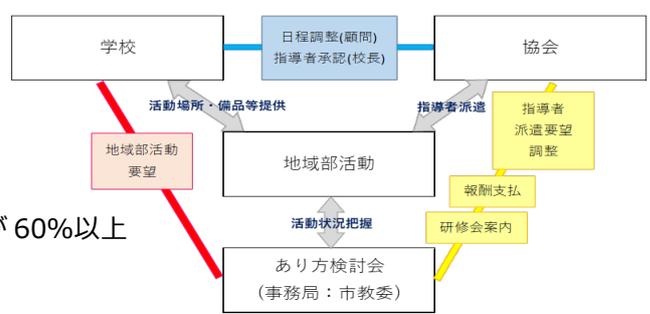
③ 地域移行に向けた地域への理解促進

検証方法：生徒、保護者へのアンケート調査  
⇒活動費の負担について、「負担可能」の割合が60%以上

④ 教員の休日の部活動指導時間の削減

検証方法：担当顧問の勤務時間調査  
⇒休日の部活動指導時間0時間（中体連主催の大会を除く）

#### 1.4 実践研究の運営体制



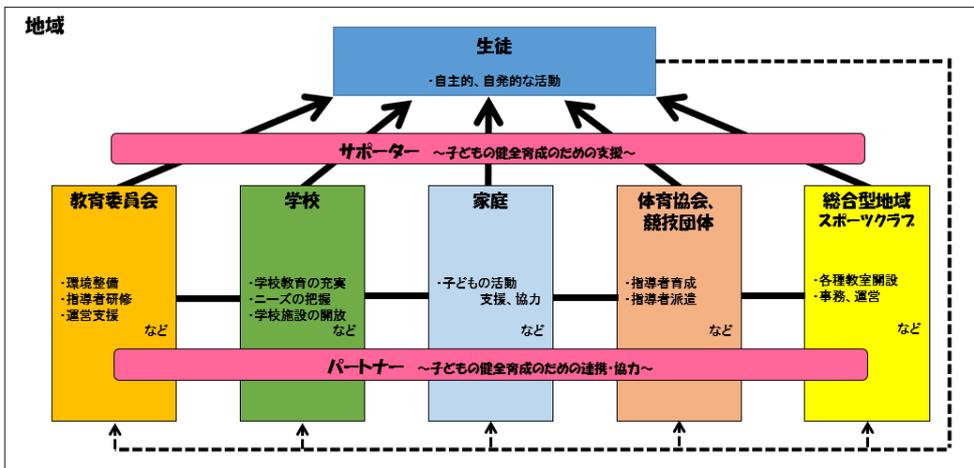
### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

#### ○地域部活動あり方検討会

回数：年3回実施

構成員：市体育協会、市中学校長会、市中学校体育連盟、市バドミントン協会、市小中学校PTA連合会

協議内容：・グランドデザイン、指導者心得、緊急時対応マニュアルの作成  
・各種アンケート調査の分析



**滑川市中学校部活動指導者募集!**

「自身の競技経験等をも  
滑川の子どものために活かしてみませんか」

【募集対象者】  
スポーツ指導に興味のある方、子どもが大好きな方

【募集競技(5競技)】  
①陸上競技 ②軟式野球 ③ソフトボール  
④サッカー ⑤ソフトテニス ⑥バスケットボール  
⑦バレーボール ⑧バドミントン ⑨卓球

【活動方針・内容】  
市内中学校の部活動担当顧問と連携を取り、活動方針や活動内容について共通理解・協定を行いながら、子どもたちの心身の成長のために指導に当たっていただきます。

【活動時間】  
週最大5日(平日4日、休日1日) 休日ももちろんありません!!  
※平日2時間、休日3時間程度。日時は顧問と相談の上、決定します。

【活動場所】  
市内中学校または市内体育施設

【報酬】  
1,119円/月

お問い合わせ先：生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課  
生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

#### ○地元の専門学校との連携強化

地元の専門学校の協力を得て、学生の指導希望者の募集を開始。

◀目的▶ ・地域の指導者の掘り起こし

・学生を含めた滑川市版指導者バンクの設置の土台づくり

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全2中学校のうち、1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	1部活
③ 種目	バドミントン

《主な取組例(1)》…滑川市立滑川中学校

① 運営主体	滑川市教育委員会		
② 種目	バドミントン	④ 参加者数	48人
④ 活動日	土曜日または日曜日	⑤ 活動場所	滑川市立滑川中学校体育館
⑦ 指導者人数	6人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,119円/時間
⑨ 指導者属性	市バドミントン協会に所属の指導者6名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

#### 3.2 参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等) ※詳細は別紙(アンケート調査結果)

【全体】

○今年度の地域部活動の全体的な満足度は? 生徒:82% 保護者:86% 指導者:100% 顧問 100%

【生徒 回収数:34/48名(70.8%)】

○地域部活動の良かった点は何ですか?(複数回答可)

・体力・技術が向上した:20名 ・楽しく取り組めた:18名 ・専門的な指導を受けることができた:15名

○地域部活動の改善点、不安点は何ですか?(複数回答可)

・特になし:22名 ・楽しく取り組めなかった:7名 ・練習についていけない:4名 ・成長できなかった:3名

【保護者 回収数:36/48名(75.0%)】

○地域部活動にご参加いただいた理由を教えてください。

・子どもが参加したいと言ったから:26名 ・専門的な指導が受けられるから:12名  
 ・地域部活動の活動趣旨に賛同したから:10名 ・費用負担なく参加できるから:5名

○今後、地域部活動として活動するとしたらどのような不安点がありますか?

・どのような指導者が来るのか:18名 ・生徒間でトラブルが起きた時の対応:13名 ・ケガや事故の際の対応:12名  
 ・費用負担がかかるのではないか:8名 ・学校、教員との接点なくなる:6名 ・活動実績が入試に反映されるのか:2名

○地域部活動への参加において、最も求めることは何ですか?

・子どもが楽しく取り組めること:72% ・子どもの競技レベルが上がること:19% ・費用等の負担が少なく済むこと:6%

○今後、継続的な地域部活動を行うために活動費を負担していただくとしたらどの程度が妥当な金額(月額)だと思いますか?

・1,000円程度:46% ・2,000円程度:26% ・3,000円程度:6% ・協力できない:8% ・その他:14%

【指導者 回収数:4/6名(66.7%)】

○現在、地域部活動の指導者として活動している理由を教えてください。

・当該種目の競技普及:3名 ・指導者としての使命、やりがい:3名 ・地域貢献の一環:3名

○指導者の報酬額はどの程度がふさわしいと考えますか。

・1,000円程度/時:25% ・1,500円程度/時:25% ・交通費程度:50%

○指導していて、どのようなことに悩んでいますか。

・競技志向生徒と楽しみ志向生徒の共存:4名 ・活動時の安全、出欠確認:3名 ・生徒のやる気不足:2名

【担当顧問 回収数:2/2名(100%)】

○今年度の地域部活動によって、負担軽減につながりましたか? ・大いに軽減された:50% ・やや軽減された:50%  
 理由:土日の練習はすべて地域の方に見ていただいたので、週に2日の休みが確実に取れたから。

#### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

【課題①:地域部活動について否定的な意見や不安な点、改善点への対応(アンケート調査より)】

生徒:練習についていけない

・クラブ所属者にのみ練習試合等の情報が伝わっていた

対応①

保護者:実践から

・練習についていけないと子どもが言っていた

・欠席時等の連絡手段

対応②

今後に向けて

・どのような指導者か(50.0%)

・ケガや事故等の発生時の対応(33.3%)

・生徒間でトラブル発生時の対応(36.1%)

・費用負担が発生する(22.2%)

・学校との接点なくなる(16.7%)

・その他:練習場所への送迎

指導者:緊急時に冷静に対応できる知識・判断力等の習得

・出欠確認等のための電話連絡の大変さ、安易なアプリ活用への不安

・指導者の確保・育成(やる気のある若手⇒指導力・教育的な対応力の向上に時間が必要)

☆対応①:指導者研修会の実施・充実

☆対応②:担当顧問との連携強化、情報モラル教育・教室の実施、通信機能等の制限が可能なアプリの活用

【課題②:子どもたちの主体的な活動参加】

「地域部活動\_よくない」と答えた生徒=「楽しく取り組めない」×「親に行かされた」(100%)—— 対応③

☆対応③:説明会等の実施

部活動は任意での参加であることの周知を図る

従来の部活動に対する意識からの脱却を図る(ex.部活動は入るべき。進学に優位になるはず。)

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

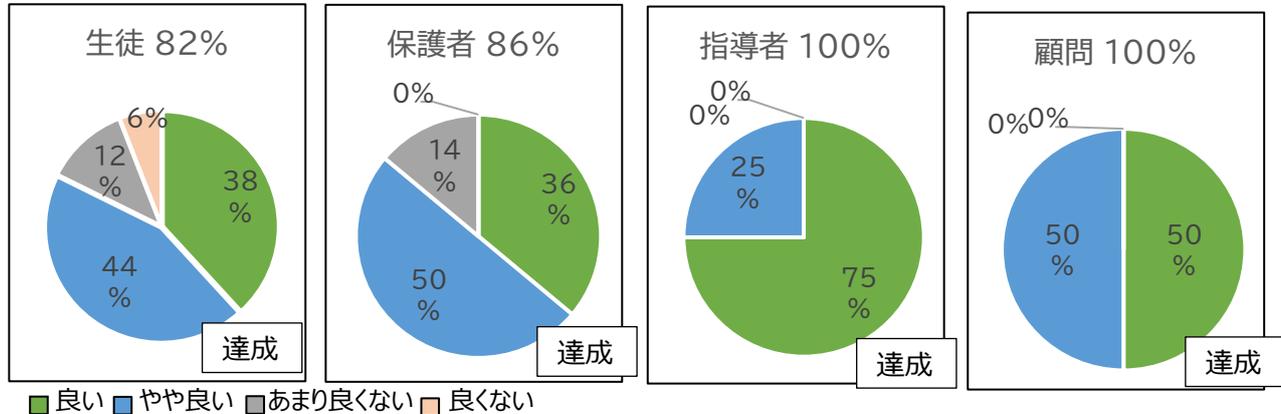
#### 【目標達成度の検証】

「目標① 地域への部活動移行に向けた地域運動部活動のあり方の検討、検証」

「目標② 地域への部活動移行に向けた拠点校での地域指導者による指導の実施」

検証方法：生徒、保護者、指導者、担当顧問へのアンケート調査・ヒアリング調査  
⇒ 地域部活動の満足度「良い」・「やや良い」の合計が60%以上

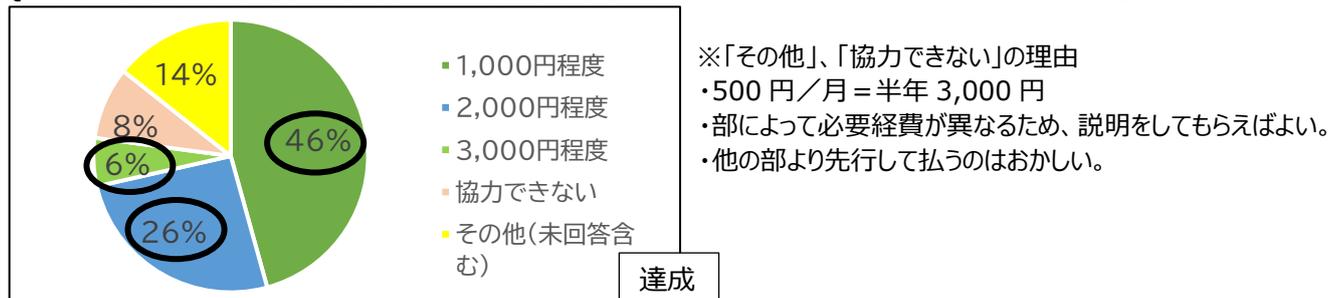
Q. 地域部活動の全体的な満足度は？



「目標③ 地域への部活動移行に向けた地域への理解促進」

検証方法：生徒、保護者へのアンケート調査 ⇒ 活動費の負担について、「負担可能」の割合が60%以上

Q. 今後、継続的な地域部活動を行うために活動費を負担していただくとしたらどの程度が妥当な金額（月額）か？



「目標④ 教員の休日の部活動指導時間の削減」

検証方法：担当顧問の勤務時間調査 ⇒ 休日の部活動指導時間0時間（中体連主催の大会を除く）

結果 4～7月：平均16.8時間/月 → 8～1月：0時間（中体連主催大会を除く）

※その他の教員：4～7月：平均23.0時間/月 → 8～1月：15.9時間

達成

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

#### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

・定期的に協議会を開催し、先行して取り組んでいる団体の取組の成果と課題を整理したり、実情等を共有することで、市内各競技団体等の受け皿となり得る団体や学校が方向性を共有して移行を進める体制を構築する。

#### 【受け皿団体の確保方策】

・市内競技団体を統括する市体育協会との連携強化を図り、運営団体の移行に向けた協議、検討を行う。  
 ・総合型スポーツクラブに既存部活動以外のスポーツも含めたニーズに応じた多様な教室の開設に向けた協議、検討を行う。

#### 【指導者の確保方策】

・地元の専門学校との連携を強化し、学生指導者の募集を継続し指導者の掘り起こしを行う。また、地元の企業との連携も図り、指導者の確保に努める。  
 ・市独自の指導者バンクを設置し、地域内の指導者の確保状況を把握するとともに、市内各競技団体等と情報を共有して、移行後の指導体制の構築を図る。

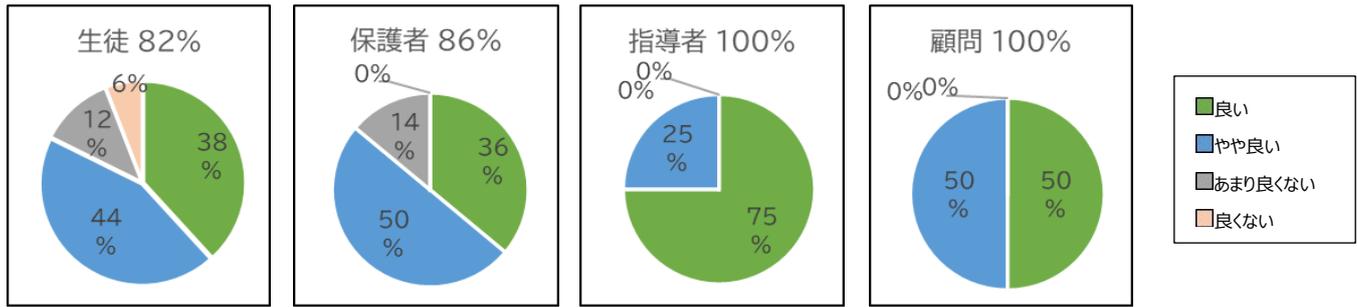
#### 【費用負担の軽減方策】

・部活動の移行先団体の認定制度を設け、市内中学校の部活動を対象とした市内体育・文化施設の無料での利用を継続して行えるようにする。

アンケート調査（滑川市地域運動部活動）の結果

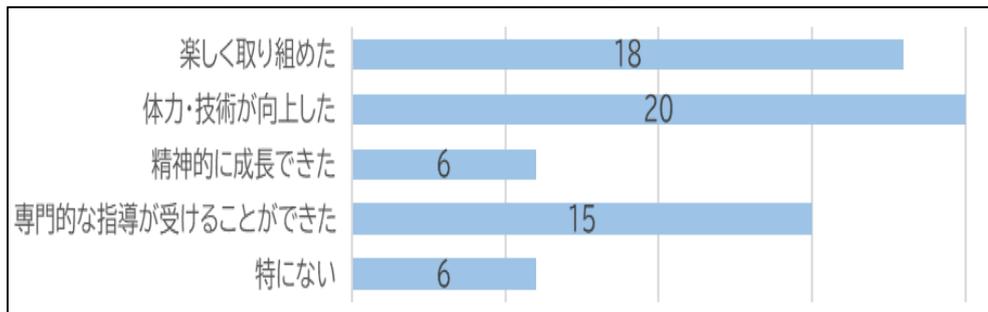
【全体】

○今年度の地域部活動の全体的な満足度は？

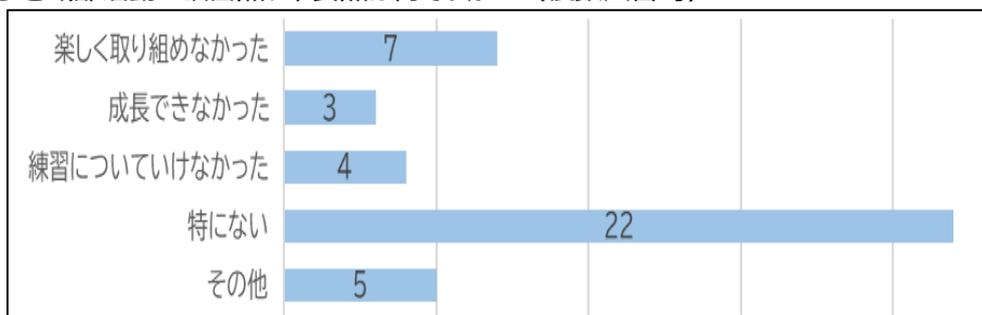


【生徒 回収数：34/48名（70.8%）】

○地域部活動の良かった点は何ですか？（複数回答可）

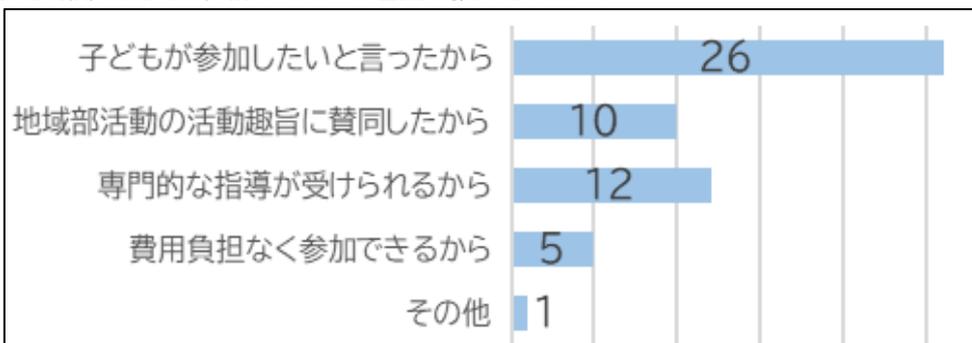


○地域部活動の改善点、不安点は何ですか？（複数回答可）



【保護者 回収数：36/48名（75.0%）】

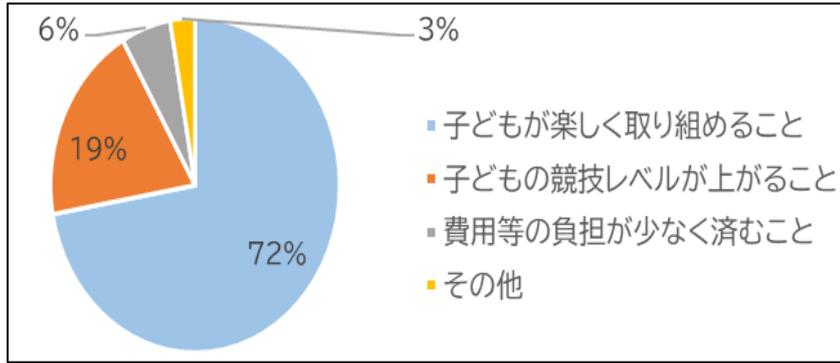
○地域部活動にご参加いただいた理由を教えてください。



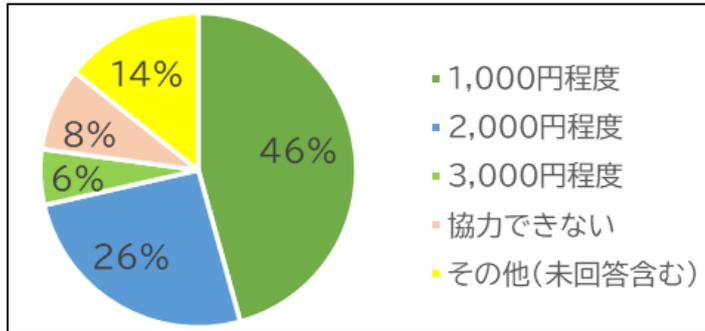
○今後、地域部活動として活動するとしたらどのような不安点がありますか？



○地域部活動への参加において、最も求めることは何ですか？

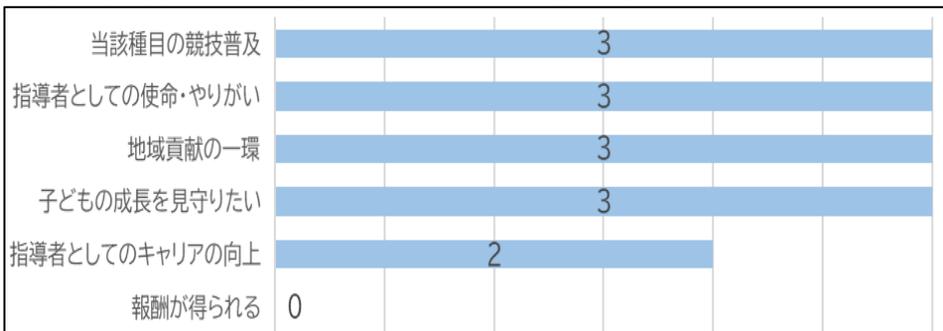


○今後、継続的な地域部活動を行うために活動費を負担していただくとしたらどの程度が妥当な金額（月額）だと思いますか？

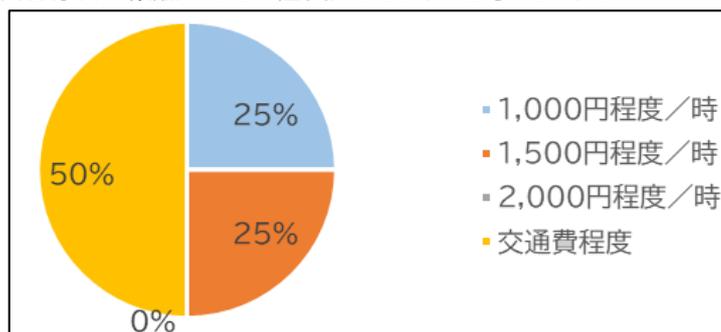


【指導者 回収数：4 / 6名 (66.7%)】

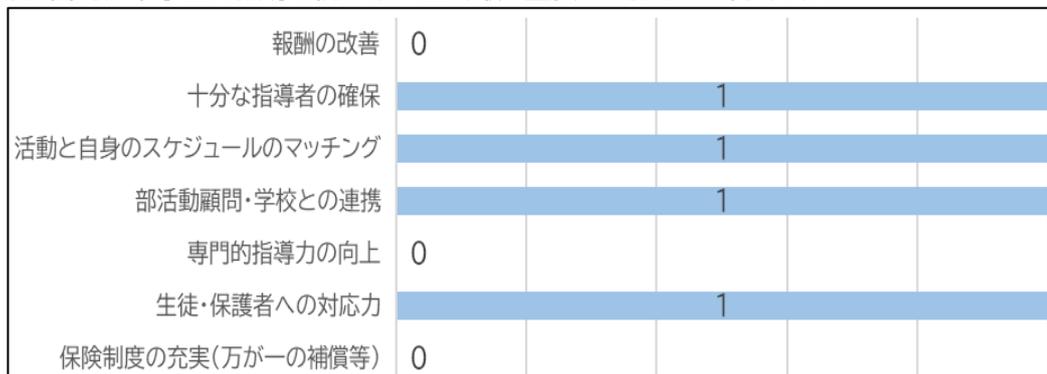
○現在、地域部活動の指導者として活動している理由を教えてください。



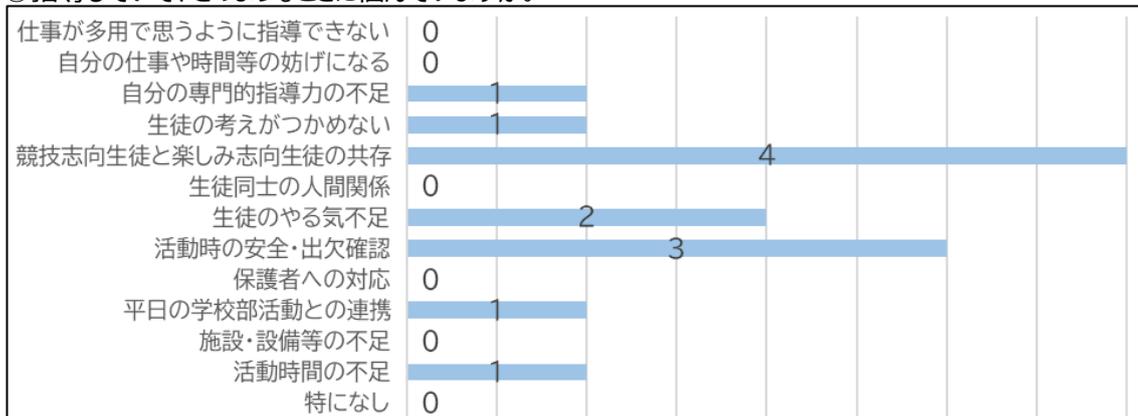
○指導者の報酬額ほどの程度がふさわしいと考えますか。



○ご自身が中学生の指導を続けていく上で最も重要だと思うことは何ですか。

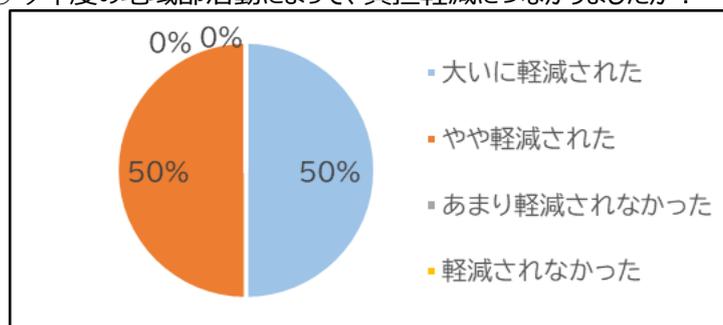


○指導していて、どのようなことに悩んでいますか。



【担当顧問 回収数：2 / 2名（100%）】

○今年度の地域部活動によって、負担軽減につながりましたか？



- ・土日の練習はすべて地域の方に見ていただいたので、週に2日の休みが確実に取れたから。
- ・土日の負担は大きく軽減されました。

自治体名	富山県高岡市教育委員会 担当課：教育委員会、学校教育課 電話番号：0766-20-1451
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	12校	② 生徒数	3787人	③ 部活動数	173部活
--------	-----	-------	-------	--------	-------

1.2 地域における現状・課題

●現状

- ・令和4年度現在、11校の中学校と1校の義務教育学校の計12校を設置している。うち、小規模校8校、適正規模校3校、大規模校1校である。ほとんどの中学校において、長期にわたって生徒数の減少が続いており、学校の小規模化、教員数の減少、設置部活動数の減少傾向にある。10年間で中学校の生徒数は約800人減少し、4分の3の規模となっている。
- ・「高岡市地域部活動移行推進委員会」を設立し、部活動の地域移行の在り方等について協議を進めることで、地域や各競技団体等の本事業に対する理解が深まってきている。

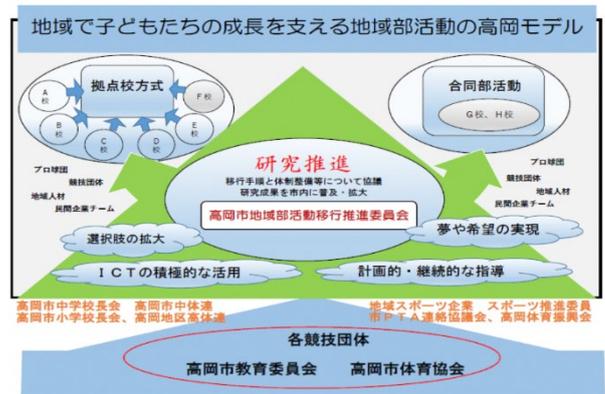
●課題

高岡市の中学校・義務教育学校では、部員数の問題や専門的な指導ができる教員の減少等により、生徒にとって充実した活動が難しくなっているのが現状となっている。具体的には、以下の点が課題である。

- ・活動場所を確保すること難しい。また学校施設を複数の競技が利用する際、調整が必要である。
- ・生徒や保護者の参加費負担が増える。
- ・活動場所が遠方、また公共交通機関も十分ではないため、参加できない生徒がいる。
- ・指導者が足りない。また、指導者の確保が難しい。
- ・指導者に対する研修が必要である。
- ・競技によっては、休日の地域部活動の練習会を計画することが難しい。
- ・生徒や保護者、教員に対する地域部活動の趣旨の周知が不足している。

1.3 実践研究における取組目標

- ① 地域部活動コーディネータが学校と競技団体との調整役となり、すべての活動場所を確保する。
- ② 1競技2名以上の指導者を確保する。
- ③ 指導者の質の保証・量の確保
  - ・体育協会、競技団体、プロスポーツ企業等と連携し、指導者を確保する。
  - ・指導者研修会を実施する。
  - ・校長会と連携し、教員の兼職兼業の仕組みを進める。
- ④ 生徒にとって、充実した練習会を行う。
- ⑤ 地域部活動の取り組みを行う競技においては、学校の顧問の土日の負担を軽減する。



1.4 実践研究の運営体制

- (1) 「地域部活動移行推進委員会」の開催（R4：年3回）
  - ・地域人材の確保や費用負担の在り方、各競技団体との連携方法など、地域移行の手順と体制整備について検討、協議
  - ・成果と課題を検証し、研究成果を市内に普及
- (2) 地域部活動の実施
  - 実施競技 軟式野球、バドミントン、バレーボール、ソフトテニス、陸上競技、バスケットボール（男・女）、サッカー、卓球、水泳、ハンドボール、剣道、柔道、相撲、ソフトボール
  - 実施回数（年12回程度） ※競技毎に計画・立案

## 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- 1 第1回高岡市地域運動部活動移行推進委員会の開催
  - ・第1回 令和4年5月27日(金) 19:00~20:30
  - ・第2回 令和4年12月19日(月) 19:00~20:30
  - ・第3回 令和5年2月20日(月) 19:00~20:30
- 2 高岡市地域部活動推進委員会小委員会の開催
  - (1) 第1小委員会(団体競技対象) 令和4年11月25日(金) 18:30~
  - (2) 第2小委員会(個人競技対象) 令和4年11月28日(月) 18:30~
- 3 高岡市地域スポーツクラブ指導者研修会の開催
  - (1) 日時 令和4年12月15日(木) 18:30~19:30
  - (2) 場所 東洋通信スポーツセンター
  - (3) 内容 体罰及びセクシュアルハラスメント等の防止について
- 4 部活動の地域移行に関する意見交換会の開催
  - (1) 日時 令和4年11月9日(火) 15:30~
  - (2) 対象 各学校 運動部活動主任、文化部活動主任、教頭会代表
- 5 地域部活動コーディネータ連絡会の開催
  - (1) 日時 令和5年1月13日(金) 16:00~16:45
  - (2) 内容 地域部活動コーディネータの業務について
- 6 新入生説明会における地域部活動の新入生及び保護者への説明会
  - (1) 日時 令和5年2月
  - (2) 場所 高岡市立中・義務教育学校12校

## 3. 実践研究校における取組について

### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	高岡市内全12中学校(1義務教育学校含む)が参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	15部活
③ 種目	軟式野球、バドミントン、バレーボール、ソフトテニス、陸上競技、バスケットボール(男・女) サッカー、卓球、水泳、ハンドボール、剣道、柔道、相撲、ソフトボール

#### 《主な取組例(1)》…

① 運営主体	高岡市地域スポーツクラブ		
② 種目	バドミントン	④ 参加者数	39人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	高岡市立高岡西部中学校
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	市バドミントン協会に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:2,850円/年額)		

#### 《主な取組例(2)》…

① 運営主体	高岡市地域スポーツクラブ		
② 種目	サッカー	④ 参加者数	49人
④ 活動日	土曜日、日曜日	⑤ 活動場所	高岡市立高陵中学校
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	市サッカー協会に所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:3,000円/年額)		

### 3.2 参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等)》

【生徒】・多くの人といろんなプレできて楽しかった、技術があがった

- ・普段は一緒に練習できないほかの学校の人たちと一緒に練習できてうれしかったし、友達ができた
- ・上達することによる達成感や、運動による体力向上を図れた、・この一年間で自分の成長を感じられた。

【教師】・学校では教えてもらえないことやたくさんの時間活動することができる

- ・未経験者が経験を積むことができ助かった
- ・部活動の時間が1時間しかなく、学校部活動の時間だけではやる気がある生徒には物足りないからよかった
- ・他の地域の生徒から刺激を受けた

【指導者】・保護者、生徒、地域からの理解が浸透してきた。

- ・参加人数が増加しており、一定のニーズがあると感じられる。
- ・平日の部活動よりも練習時間をたくさん確保でき、有意義であった。
- ・昇級審査試験等に成果がみられた。参加している生徒の合格率が高かった。
- ・該当の部活動がない学校からも参加生徒がいた。生徒のニーズに応じることができた。
- ・複数の指導者で生徒のレベルに応じた指導を行っているので、一定の成果を上げている。

### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

【課題】・活動場所を確保すること難しい。また学校施設を複数の競技が利用する際、調整が必要である。

- ・生徒や保護者の参加費負担が増える。
- ・活動場所が遠方、また公共交通機関も十分ではないため、参加できない生徒がいる。
- ・指導者が足りない。また、指導者の確保が難しい。
- ・指導者に対する研修が必要である。
- ・競技によっては、休日の地域部活動の練習会を計画することが難しい。
- ・生徒や保護者、教員に対する地域部活動の趣旨の周知が不足している。

【解決方法】・学校と競技団体との調整を図るため、運動部活動の15競技において、市中学校体育連盟の中から、地域部活動コーディネータ（教員）を選出した。コーディネータが中心となり、学校施設利用の調整や、各学校の顧問への周知等を行っている。

- ・地域スポーツクラブ指導者の研修会を実施した。パワハラやセクハラなどについて、チェックリストをもとに研修を行った。また指導者が不安に思っていることや困っていることなどを聞く機会にもなった。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

【生徒】・専門的な指導者からの指導を受けることで、技能の向上、競技に対する興味・関心の向上がみられた。

- ・当該部活動がない学校の生徒、部員が少ない学校の生徒にとって、充実した練習ができる。また、他校の生徒と活動することがよい刺激となる。

【教員】・休日の部活動の回数が少なくなり、休日出勤の回数が減った。

- ・教材研究など、他の業務に費やす時間が増えた。

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

#### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

- ・高岡市地域部活動移行推進委員会の事務局が、関係団体と連絡調整を行う。
- ・競技ごとに、地域部活動コーディネーター（教員）を選出し、競技団体と学校との連絡調整を行う。

#### 【受け皿団体の確保方策】

- ・地域のプロスポーツ企業等と連携し、指導者の派遣や生徒対象の練習会、指導者の資質向上の研修会を行う。

#### 【指導者の確保方策】

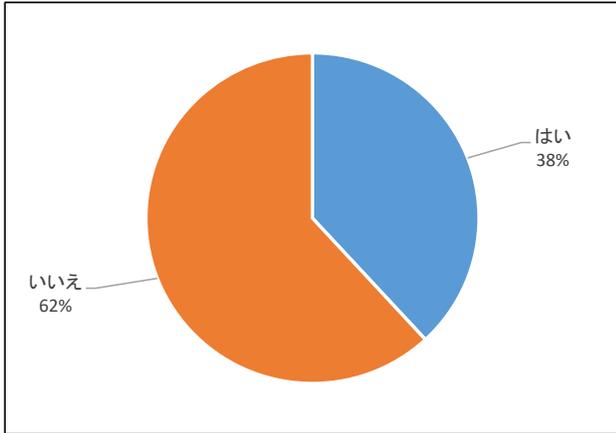
- ・体育協会、競技団体等と引き続き連携し、指導者を確保する。
- ・教員アンケートを基に、兼職兼業による指導を希望する教員を把握し、指導者の確保に努める。

#### 【困窮世帯への支援方策】

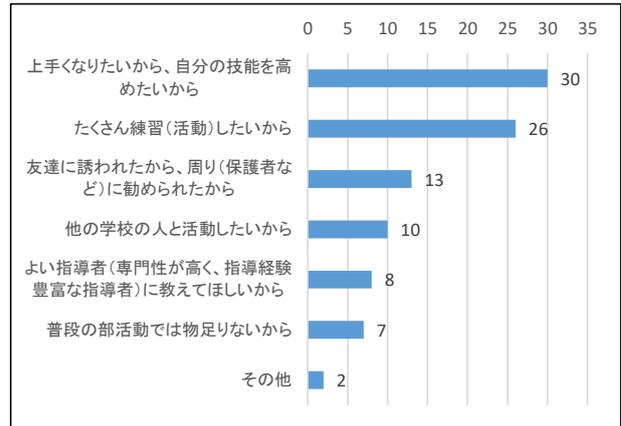
- ・保護者負担経費の調査（学校部活動の活動経費との比較）や困窮世帯への支援の在り方の研究を行う。

高岡市地域スポーツクラブ（地域部活動）アンケート【生徒用】アンケート 集計結果  
高岡西部中学校 1、2年運動部員 118名回答

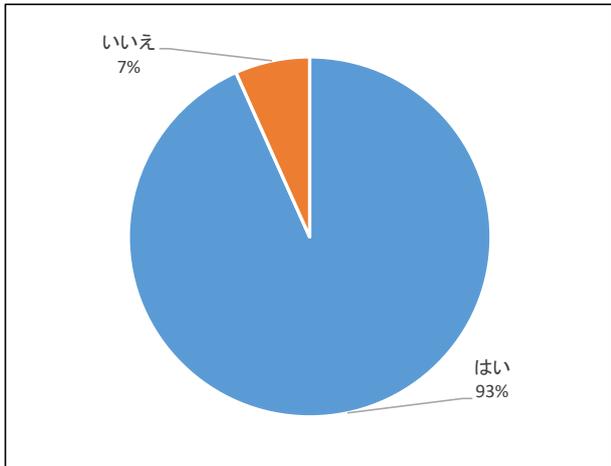
質問1 あなたは、今年度、地域スポーツクラブ（地域部活動）に参加しましたか。



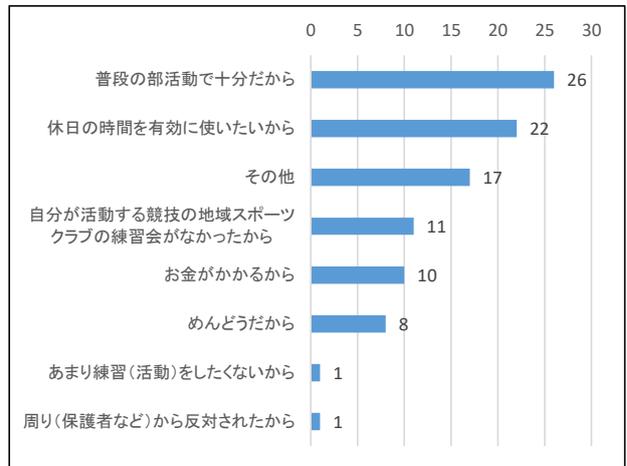
質問2 地域スポーツクラブに参加した理由は何ですか。【複数回答可】



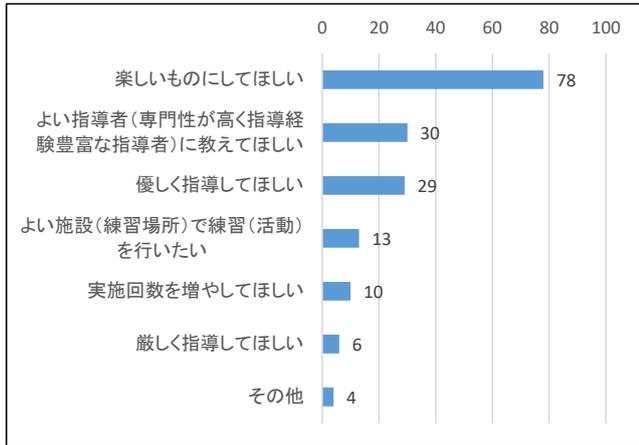
質問3 地域スポーツクラブに参加してよかったですか。



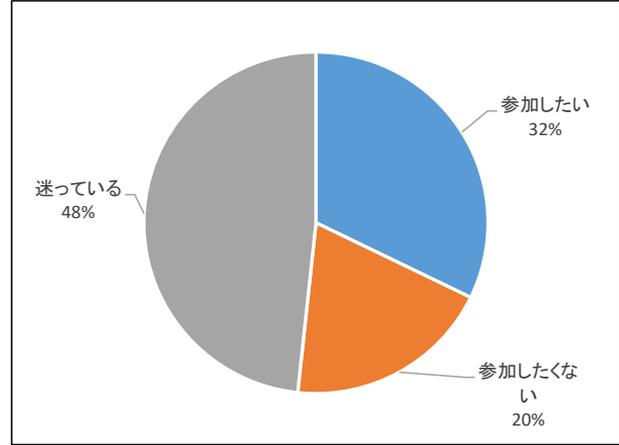
質問4 地域スポーツクラブに参加しなかった理由は何ですか。



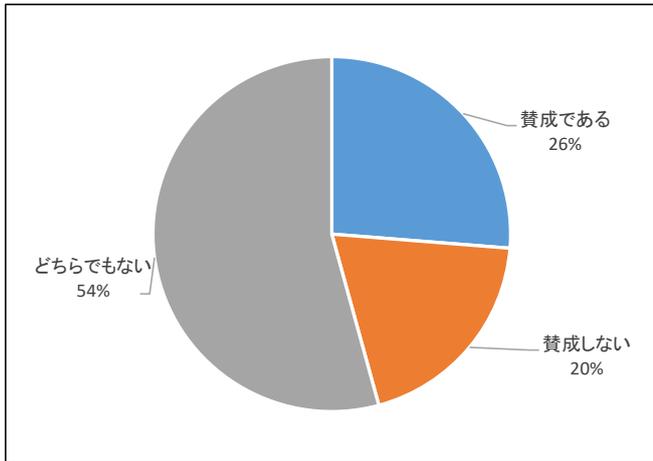
質問5 今後の地域スポーツクラブ（地域部活動）に期待することは何ですか。【複数回答可】



質問6 あなたは、来年度、地域スポーツクラブ（地域部活動）に参加したいですか。

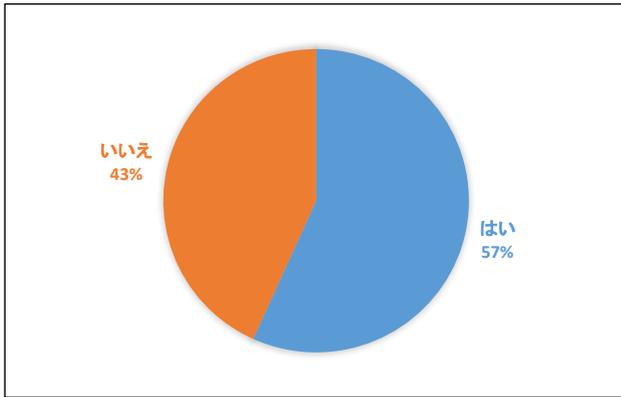


質問10 あなたは、休日の部活動が、学校の部活動ではなく、地域の活動に移行することについてどう思いますか。

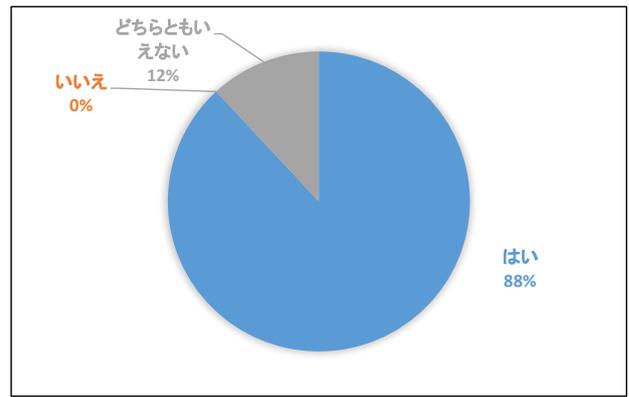


# 高岡市地域スポーツクラブ（地域部活動）アンケート【教員用】アンケート 集計結果 市内中学校運動部顧問148名回答

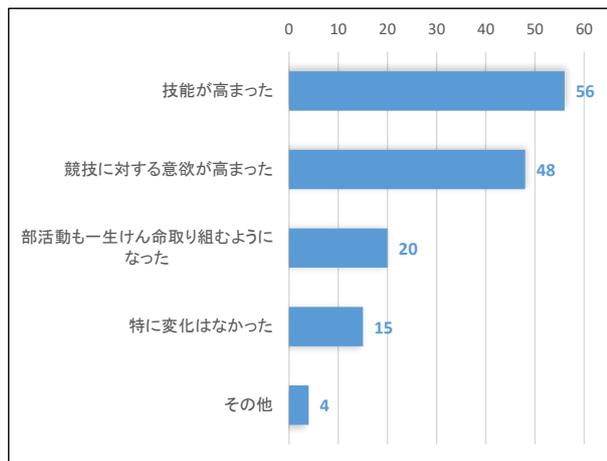
質問1 あなたが顧問をする部の生徒は、今年度、地域スポーツクラブ（地域部活動）に参加しましたか。



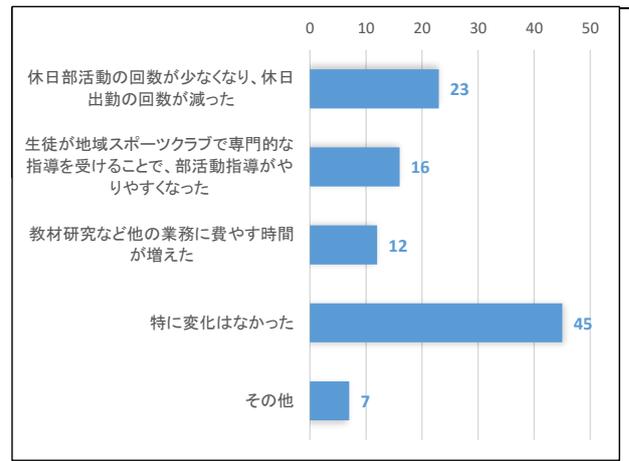
質問2 あなたは、自分が顧問をする部の生徒が、地域スポーツクラブ（地域部活動）に参加してよかったと思いますか。



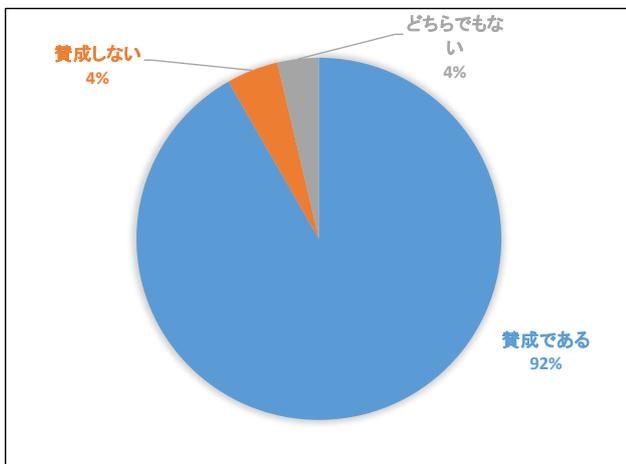
質問3 生徒が地域スポーツクラブに参加したことで、どのような変化が見られましたか。【複数回答可】



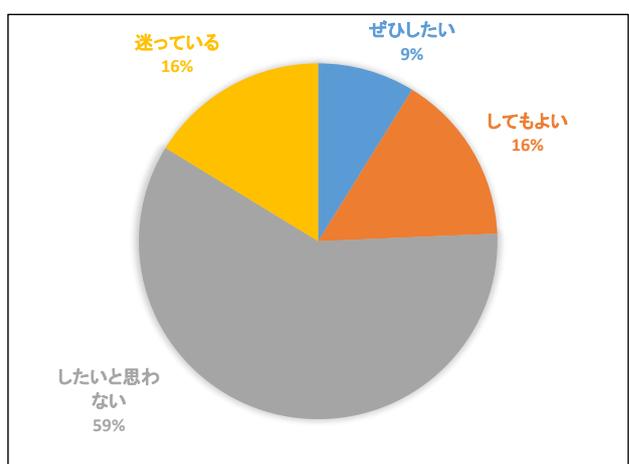
質問4 生徒が地域スポーツクラブに参加したことで、あなたの学校での働き方は、どのように変化しましたか。【複数回答可】



質問5 あなたは、休日の部活動が、学校の活動ではなく、地域の活動に移行することについてどう思いますか。



質問6 あなたは、休日の部活動が、地域の活動に移行した場合、地域の指導者として、指導に携わりたいですか。



# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	富山県南砺市教育委員会 担当課：教育部教育総務課 電話番号：0763-23-2012
------	---

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	8校	② 生徒数	1,113人	③ 部活動数	52部活
--------	----	-------	--------	--------	------

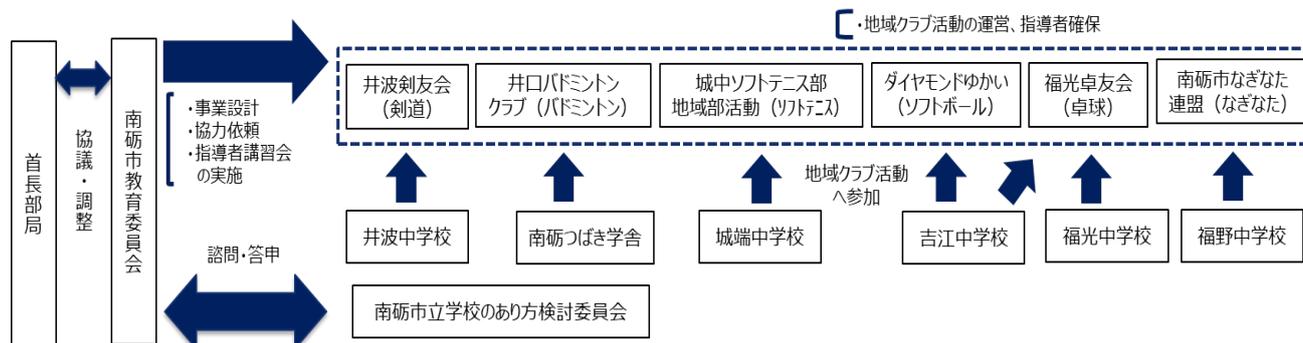
#### 1.2 地域における現状・課題

- ・各学校の教員数に対し設置運動部活動数が多く、一人顧問や一人の教員が複数の顧問を担当するケースがあり、顧問担当教員の負担が大きく、超過勤務の原因の一つとなっている。
- ・顧問を担う種目を経験したことのある教員が、市立中・義務教育学校全体の30%程度にとどまっており、質の高い専門的な指導が行いにくい状況となっている。
- ・指導者の高齢化により、近い将来、持続可能な指導体制を維持することが困難になることが危惧される。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・平日2回程度、休日1回の活動を、学校部活動から切り離れた地域スポーツ活動として指導を担う、地域指導者の発掘および確保をする。休日の部活動の負担軽減を実感する顧問教員の割合80%を目標とする。
- ・休日における部活動や中体連が主催する大会以外の大会への参加（引率）を地域指導者が担い、教員が関わらない運営のあり方についての仕組みを整備する。
- ・地域の一貫した指導体制の構築等、環境を整備する。

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・教員、生徒、保護者、地域指導者を対象にアンケート調査を実施し、地域指導者団体と問題点や今後の取組について協議した。昨年度までは学校を経由して指導日誌等を提出してもらう仕組みであったが、今年度からは市民センター経由で指導日誌等を提出することで、学校が関与しない仕組みづくりを構築することができた。
- ・地域部活動指導者研修会を実施し、地域指導者としての心構えや事故対応、ハラスメント等に関して共通理解を図った。参加できなかった指導者には県主催のスポーツエキスパート研修会を受講していただき、指導者の質の向上を図った。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全8中学校のうち、6校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	7部活
③ 種目	ソフトテニス、ソフトボール、卓球、バドミントン、なぎなた、剣道

#### 《主な取組例（1）》…南砺市立井波中学校

① 運営主体	井波剣友会		
② 種目	剣道	③ 参加者数	15人
④ 活動日	水、金、土曜日	⑤ 活動場所	井波社会体育館格技室
⑥ 指導者人数	7人	⑦ 謝金単価	1回1,000円2名まで

⑧ 指導者属性	井波剣友会に所属の指導者 7 名を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1 人あたり：500 円/年額)		
≪主な取組例(2)≫…南砺市立南砺つばき学舎			
① 運営主体	井口バドミントンクラブ		
② 種目	バドミントン	③ 参加者数	9 人
④ 活動日	水、金、土曜日	⑤ 活動場所	南砺つばき学舎第 2 体育館
⑥ 指導者人数	5 人	⑦ 謝金単価	1 回 1,000 円 2 名まで
⑧ 指導者属性	井口バドミントンクラブに所属の指導者 5 名を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1 人あたり：36,000 円/年額)		

### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者）

・生徒 43 人、保護者 31 人、指導者 19 人、教師 9 名のアンケート結果（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合）

- ①地域の指導者が指導する取組はいいか：生徒 97.7%、保護者 93.5%、教師 88.9%
- ②地域移行の活動は、学校部活動に比べ、指導が充実しているか：生徒 90.7%、保護者 80.6%
- ③地域移行の活動は、学校部活動と比べ、体力や技術の向上につながっているか：生徒 95.3%、保護者 80.6%
- ④地域移行の活動により、競技に対する興味や意欲は増したか：生徒 86%、保護者 71%
- ⑤地域移行の活動は、休日の部活動の負担軽減を実感しているか：教師 66.7%
- ⑥地域移行の活動は、平日の部活動の負担軽減を実感しているか：教師 55.6%
- ⑦生徒の人間性を育むことをねらいとし、勝利至上主義的な指導に陥らないよう指導できたか：指導者 100%

### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・指導者の確保が難しく、休日 1 回、平日 2 回程度の活動を基本としているが、実際は実施できていない競技団体がある。指導者確保に向けて、今後各競技協会と協議し、地域移行に向けての体制を整える。
- ・学校が関与しない仕組みづくりの構築を目指しているが、部活動顧問と地域指導者との連携は必要である。学校と地域指導者で情報共有していく仕組みを構築する必要がある。スポーツエキスパートや部活動指導員と地域指導者を兼任している方を中心に、学校と地域指導者の情報共有を図る。
- ・日本スポーツ協会等の指導者資格を有している指導者はまだ少ない。今後、地域移行が多くの種目で実施していく場合、指導者の質の確保が重要になる。次年度は、地域部活動指導者研修会を今年度より早い時期に設定し、新規の指導者にも地域指導者としての心構えや事故対応、ハラスメント等に関して共通理解を図る。また、アンケート調査も引き続き行い、事業の成果と課題を洗い出しつつ、ハラスメント等がないか確認する。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・休日の部活動の負担軽減を実感する顧問教員の割合は 80%には達しなかったが、66.7%の教師が地域移行によって、休日の部活動の負担軽減を実感している。指導者の確保が進めば、今後負担軽減を感じる顧問教員の割合は増えていくものと考ええる。
- ・地域指導者が大会引率を担っている種目がいくつかあった。今後、教員が関与しない仕組みづくりを構築するうえで、よい実践となった。

### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

<b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b> ・体育協会が総括コーディネーター、総合型地域スポーツクラブがコーディネーターをする体制を構築し、連絡調整・指導助言を行う体制を整備する。	<b>【受け皿団体の確保方策】</b> ・拠点校型クラブと地域型クラブの形態を競技団体に提案し、競技団体が地域スポーツクラブとして活動しやすい環境を整備する。
<b>【指導者の確保方策】</b> ・体育協会や関係競技団体から地域スポーツクラブを運営するための指導者を派遣する。	<b>【困窮世帯への支援方策】</b> ・地域スポーツクラブ活動に係る保護者負担経費を調査し、困窮世帯に対して必要な経費を調査する。
<b>【地域移行の自走化に向けた方策】</b> ・指導者確保と財源確保が必須である。競技協会との連携・協力体制の構築、受益者負担等検討していく。	<b>【地域特有の課題への対応策】</b> ・地域移行する数を絞るためにも部活動の拠点校化を推進する。

## 地域移行(生徒アンケート)

あなたが活動している競技種目は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいと思いますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、指導が充実していますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、体力や技術の向上につながっていますか。	地域移行の活動により、自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか。	学校部活動は、今後平日2回、休日1回を地域に移行して活動します。今後も地域移行の活動に参加したいと思いますか。	質問6で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		より専門的な知識を得られる。	特にありません。
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		技術的なことを教えてもらえてよい	特になし
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う			
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	強くなりたいたから		
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	練習法が実際の試合を想定したものなのでとても役立っているからです。	コーチなどの指導がとても身になる。	特になし。
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	強くなって勝ちたいから指導が欲しい		
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う			
ソフトテニス	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う		自分に合った教え方をしてくださる人と出会えること	
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	3. どちらからといえば そう思わない	4. そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない		ありません	地域部活動ってなんですか？ 地域部活動の日も指導されないので部活動との違いがよく分かりません
ソフトテニス部	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		指導者の方がついてくれていること	
ソフトテニス部	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	地域移行の活動に参加しているおかげで大会に勝っている感じがあるから。		
ソフトテニス部	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		コーチが的確な指示を出してくれる	なし
ソフトボール	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う		家の日程に合わせて活動ができること	テスト期間が近づいて来ると自分の時間が少なくなる

## 地域移行(生徒アンケート)

あなたが活動している競技種目は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいと思いますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、指導が充実していますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、体力や技術の向上につながっていますか。	地域移行の活動により、自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか。	学校部活動は、今後平日2回、休日1回を地域に移行して活動します。今後も地域移行の活動に参加したいと思いますか。	質問6で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
ソフトボール	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う		休日がほぼない	
ソフトボール	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う			
ソフトボール	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う			
なぎなた	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う			
なぎなた	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う		そのスポーツの知識が豊富な人が本当に身近で教えてくださること	移動時間が少しもったいない
なぎなた	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
バドミントン	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う		学校ではしっかりとした基礎を学べ、地域では技術を向上する事ができるところ	
バドミントン	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	外部指導者が来たら平日とメニューの差があるから(外部指導者が来た方がキツイ)	試合やいろいろなことを教えてくれる	男女のメニューが同じで結局キツイから男子と女子のメニューを少し変えて欲しい
バドミントン	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
剣道	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う			
剣道	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	学校の方がやりやすいから。		
女子卓球部	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		実力者がいる	
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	コーチに指導してもらえるのが良いから		
卓球	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			

## 地域移行(生徒アンケート)

あなたが活動している競技種目は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいと思いますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、指導が充実していますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、体力や技術の向上につながっていますか。	地域移行の活動により、自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか。	学校部活動は、今後平日2回、休日1回を地域に移行して活動します。今後も地域移行の活動に参加したいと思いますか。	質問6で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
男子ソフトテニス	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う		今までとは違う視点から教えてもらえる	別に。
男子ソフトテニス部	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う			
男子ソフトテニス部	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		専門の方にテニスを教えていただけること。	やる気がない人がいること
男子卓球部	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う		自分よりも強い人たちと試合や練習ができること	なし

## 地域移行(指導者アンケート)

指導している競技種目は何か。	生徒の人間性を育むことをねらいとし、勝利至上主義的な指導に陥らないよう指導できましたか。	個人としてではなく、競技団体として、平日2回、休日1回地域部活動を実施できましたか。	質問3で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域部活動として、平日2回16:45から指導することは可能ですか。	質問5で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域部活動を実施し、課題、提案等あれば記入してください。
ソフトテニス	1. そう思う	3. どちらからといえばそう思わない	指導者にも仕事があったり、地域の行事があったりして行けない日もある。	3. どちらからといえばそう思わない	原則指導者には仕事があります。平日にその時間でも指導できるのは月に数回だけとなります。	現在モデル部活動として、国からの補助金を利用して実践しているが、先生が一番忙しい3月には補助金が出ません。お役所仕事で仕方ないかも知れませんが、これでは益々指導者確保は困難だと思います。
ソフトテニス	2. どちらからといえばそう思う	1. そう思う		2. どちらからといえばそう思う		
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえばそう思う		2. どちらからといえばそう思う		
ソフトテニス	2. どちらからといえばそう思う	3. どちらからといえばそう思わない	平日は出来ていたが休日は毎週とはいかなかった	4. そう思わない	仕事の終業時間が17時10分までだから	
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえばそう思う		3. どちらからといえばそう思わない	仕事が5時までなので、厳しい	
ソフトテニス	2. どちらからといえばそう思う	2. どちらからといえばそう思う		3. どちらからといえばそう思わない	勤務との関係で、夜間、休日の活動が中心となるため	今後、活動がさらに深まる場合、地域部活動と学校部活動の違いについて、指導者、保護者、生徒により明確にする必要がある。(ケガや事故の対応、公式戦などとの兼ね合い出欠など。)
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえばそう思う		3. どちらからといえばそう思わない	仕事の都合	
ソフトボール	1. そう思う	1. そう思う		2. どちらからといえばそう思う		仕事の時間をやりくりして行っているため、時給に合った報酬をお願いしたい。
なぎなた	1. そう思う	3. どちらからといえばそう思わない	指導の数が限られており、高校、スポーツ少年団、中学校と、いくつも掛け持ちすることになる。仕事、家庭もあり、負担を増やすことはできない	4. そう思わない	フルタイムで仕事あるため	学校に顧問がいるからこそ、技術指導が充実することができる。大会参加にかかる事務や、学校の様子や学校での配慮、取り組みをその場で感じてない以上、どんなに情報を聞いても生徒一人ひとりの背景にまで配慮することは困難の極み。

## 地域移行(指導者アンケート)

指導している競技種目は何ですか。	生徒の人間性を育むことをねらいとし、勝利至上主義的な指導に陥らないよう指導できましたか。	個人としてではなく、競技団体として、平日2回、休日1回地域部活動を実施できましたか。	質問3で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域部活動として、平日2回16:45から指導することは可能ですか。	質問5で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域部活動を実施し、課題、提案等あれば記入してください。
なぎなた	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	平日の部活動の時間に合わせる事が困難だったから	4. そう思わない	平日は勤務しているため、時間を合わせることは困難	指導者が増え、交代で出役することで、指導方法や計画、課題などの共有が以前より重要になったと思う。
なぎなた	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	平日の指導は難しい	4. そう思わない	指導者みな仕事しているため	
バドミントン	1. そう思う	1. そう思う		3. どちらからといえば そう思わない	会社の勤務時間になるから	練習開始時間、保護者の送迎など、時間の設定が難しい
剣道	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う		2. どちらからといえば そう思う		早期移行をお願いしたい。
剣道	1. そう思う	1. そう思う		4. そう思わない	勤務時間が終わっているため	指導者の勤務内容や勤務時間等により、地域部活動の活動時間が遅い時間帯となったり、日程が定まらなかったりする課題があると思う。
剣道	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う		4. そう思わない	仕事がある為	
剣道	1. そう思う	1. そう思う		4. そう思わない	平日、勤務の都合上	
卓球	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う		4. そう思わない	仕事で不可能	仕事として受け取ってもらい、ちゃんとした報酬を払っていただきたい。
卓球	1. そう思う	1. そう思う		2. どちらからといえば そう思う		学校教育の中で子どもたちの様子や感染症の発生状況の把握、子どもたちの性格や発達障害等の情報が今後、個人情報の問題からも難しくなってくると思います。 その上で、最低限指導する上で必要な情報共有ができるよう仕組み、体制づくりを望みます。
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う		3. どちらからといえば そう思わない	仕事があるため	指導者確保の為に地域企業と連携していけばよいのではと思います

地域移行(保護者アンケート)

お子さんが活動している競技種目は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいですか。	地域移行の活動は、学校部活動に比べ、指導が充実していますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、お子さんの体力や技術の向上につながっていますか。	地域移行の活動により、お子さんが取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか。	これまでの学校部活動に比べ、保護者の負担は増えましたか。	質問6で1、2とお答えした方に質問です。その負担は何ですか。	学校部活動は、今後平日2回、休日1回を地域に移行して活動します。今後も地域移行の活動にお子さんを参加させたいですか。	質問8で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
ソフトテニス	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	保護者が参加しなければならぬ雰囲気がある	2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
ソフトテニス	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	1. そう思う	保護者の見守りや送迎の負担	2. どちらからといえば そう思う		その競技の経験者に教えてもらえるので、その競技がやりたい子にはメリットがある。	部活の種類が少なく選べないことが、子供の可能性を狭めることにつながる心配がある。
ソフトテニス	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	1. そう思う	当番制で保護者の見守りが必要だったから。	2. どちらからといえば そう思う		競技の専門の方の指導が受けられること。	基本希望制だと思うので、活動目標の明確化。指導者の充実。
ソフトテニス	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		1. そう思う			
ソフトボール	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		1. そう思う		専門の知識、経験が豊富な方が指導してくれていると思うからです。	
ソフトボール	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
ソフトボール	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	今は、活動時間が短縮されそのまま地域部活動に入る為、始まりの送迎がなくなった分負担は減りました。その分終了時間も早くなった。 以前は、帰宅後、また練習へ行く為送迎に負担があったり練習後の片付けや道具運びなど当番制だったので人数が少ないのもあり分担当が大変だった。	2. どちらからといえば そう思う	指導者がより厳しくもあり、的確に指導して頂けることで子供達のやる気を更に引き出していただけるところが良いと思います	活動内でかかる経費など、今後どのように変わっていくのか？ 学校側からどこまで補助があるのか？ それともなくなるのか？	
ソフトボール	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	送迎	1. そう思う		学校の部活動だけでは、競技のレベルをあげるためには、時間も知識も足りないので、それらを補うために地域移行の活動は必要だと思います。	特になし
ソフトボール	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
なぎなた	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
なぎなた	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない		1. そう思う			
なぎなた	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
バドミントン	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う		競技に携わっている方からの直接指導がある。	
バドミントン	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない		1. そう思う			
バドミントン	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		3. どちらからといえば そう思わない	小規模校で女子バドミントン部ではなく男女まとめてバドミントン部のため、女子も男子と同じ内容の部活メニューをこなさないといけないから	地域指導者の時  試合形式の練習になりがち  小規模校だから男女まとめてバドミントン部で部活メニューが男女同じ、女子は練習が辛いと言って帰ってくる日がある。男女体力差があると思うので今後地域指導者方に練習メニューを考慮して欲しい。	

地域移行(保護者アンケート)

お子さんが活動している競技種目は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいですか。	地域移行の活動は、学校部活動に比べ、指導が充実していますか。	地域移行の活動は、学校部活動と比べ、お子さんの体力や技術の向上につながっていますか。	地域移行の活動により、お子さんが取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか。	これまでの学校部活動に比べ、保護者の負担は増えましたか。	質問6で1、2とお答えした方に質問です。その負担は何ですか。	学校部活動は、今後平日2回、休日1回を地域に移行して活動します。今後も地域移行の活動にお子さんを参加させたいですか。	質問8で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
剣道	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない		1. そう思う		専門の先生に教えていただける。	
剣道	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
剣道	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	4. そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	送迎	2. どちらからといえば そう思う			地域によって差が出る。 送迎が大変。
剣道	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		1. そう思う			
卓球	1. そう思う	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	4. そう思わない	4. そう思わない		1. そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない		1. そう思う			
卓球	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	2. どちらからといえば そう思う	4. そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		1. そう思う			
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	送迎。仕事が終わって から気が休まらない。	1. そう思う		先生方の負担軽減。先生方には個人の時間も大切にしていきたいとは思いますが。	送迎。でも仕方ないと思う。
卓球	2. どちらからといえば そう思う	2. どちらからといえば そう思う	1. そう思う	1. そう思う	4. そう思わない		1. そう思う		経験の無い先生による指導よりも、専門のコーチに指導してもらった方が子供の伸びにつながる。	指導を受ける時間が少ないと感じる。
卓球	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	1. そう思う	3. どちらからといえば そう思わない		1. そう思う		専門的な指導を受けられるのでいいです	卓球は、地域の所属チームが2つあって分かれて活動してる。中体連の団体の試合は、同じ中学校でチームで大会に出場してほしい。
卓球	4. そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	4. そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない		2. どちらからといえば そう思う			
非公開	2. どちらからといえば そう思う	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	3. どちらからといえば そう思わない	4. そう思わない		3. どちらからといえば そう思わない	移行前と移行後で部員の志気が下がったような印象を受けているため。		9でも記しましたが、移行前と後で部員の志気が団体として下がった印象があります。  理由としては、一部の部員への指導のみに地域指導者が夢になりすぎ、部員全体(特にレギュラー入りしないだろう一年生)を俯瞰して声をかける事がなくなったというのがあります。常に全ての部員=生徒に目を配っている学校の先生に比べて指導者の未熟なところが露見したなと思います。  また、学校内で起きた友人関係や先輩後輩間のトラブルなどの情報や、怪我や故障の連絡が行き違うことがあるのか、部員と指導者との間で小さな障害が起きている感じもあります。今までは学校の先生がさりげなく気遣って配慮していた事で、それがなくなってしまったことによる情報のやりとり不足で誰も悪くないのですが、そもそも中学生と指導者の仲が深まらない関係のまま今回スタートしているため、誤解が起きやすいのではないかと考えています。  地域移行の制度そのものに反対する理由はありませんが、熟練した指導者や学校との連携のあり方など、ソフト面でまだまだ検討する事は当然あると思います。それは仕方のない事だと理解していますが、今の中学生がその犠牲になって我慢させられている事は大変残念です。

地域移行(顧問アンケート)

あなたが担当している部活動は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいと思いますか。	地域移行の活動は、休日の部活動の負担軽減を実感していますか。	質問3で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動は、平日の部活動の負担軽減を実感していますか。	質問5で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進めば、教員の負担軽減につながると思いますか。	質問7で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進んだとき、地域指導員として参加したいですか。	質問9で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進んだとき、一人顧問制よりも複数顧問制の方が教員の働き方改革につながると思いますか。	質問11で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	部活動の地域移行で期待することはありますか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくないと感じていることがあれば記入してください。
剣道部	1. そう思う	1. そう思う		1. そう思う		1. そう思う	これまで教員が部活動を指導していた時間を、教科や学級・学年事務、校務事務にさくことができ、教員の負担軽減になるから。	4. そう思わない		1. そう思う	地域移行が進むことにより、顧問が指導する部(部活動指導員のいない部)の数が減るため、顧問が複数いてもよい。(部活動指導員のつかない部に複数の顧問を配置する。)	教員の多忙化解消(部活動が教員の多忙化の原因であることは、小学校教員よりも中学校教員の方が時間外勤務が多いことから明白であるから。)	生徒は、その競技の専門家の指導を受けることができる。	今のところ感じたことはありません。
ソフトボール部	1. そう思う	1. そう思う		1. そう思う		1. そう思う	今まで部活動指導に充てていた時間で、校務分掌等の業務を進めることができるから。	2. どちらかといえばそう思う	競技の特性にもよるが、複数の目で生徒を見ることができるので、安全を確保しつつ習熟度に応じた技術指導が可能になるから。	1. そう思う	複数の顧問がいれば、交代で部活動を見ることが可能になるから。	競技人口を確保するとともに、競技の魅力や楽しさを発信し、協会との連携を進めて競技者のすそ野を広げること。	地域部活動だと練習時間を連続して確保できること。	特にありません。
卓球	1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない	「地域でスポーツ活動をするので、教員は一切部活をしない」となれば負担軽減になると思います。お恥ずかしい話ですが、地域移行の活動と学校での部活動の違いがあまり理解できておらず困っています。	4. そう思わない	専門の競技が特にないため。	1. そう思う	休日も休みやすくなるから。	教員の負担軽減です。	地域移行で生徒間でトラブルがあったとしても、顧問が対応しなければいけない。	
卓球	4. そう思わない	3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない		3. どちらかといえばそう思わない				
卓球部	1. そう思う	4. そう思わない		4. そう思わない		2. どちらかといえばそう思う	部活動指導や大会運営を完全に地域に委託し、教員が部活動にいかなくて良くなれば教員の負担軽減に大いに効果があると思う。しかし、中途半端に地域クラブと教員が共同でという形や、各校の裁量ということになれば、「悪いから部活動に顔を出す」という状況が生まれ、教員の負担軽減にはならない。南砺市から、教員は部活動指導をしないということを書いてほしい。	4. そう思わない		4. そう思わない		教員が休日、平日問わず部活動指導をしなくてもよくなること現在の部活動の時間で指導者を集めることが難しいのであれば、夜に活動している地域クラブも複数あるため、現在の部活動を取りやめ、夜の地域クラブに行ってもらうようにしてほしい。現在は学校での部活動と地域クラブを両方しているが、地域クラブだけでいいと思う。生徒からも、競技経験のない教員が部活動にいるよりも、競技の専門家である地域クラブのコーチが練習の場においてほしいという声が聞こえてくる。無理に学校での部活動を守っていく必要は無いと思う。	競技経験のあるコーチが練習の場にいること	
卓球	1. そう思う	1. そう思う		1. そう思う		1. そう思う	部活動指導がなくなるだけで、たいぶ楽になります	4. そう思わない		3. どちらかといえばそう思わない		教員の勤務時間の短縮		
バドミントン部	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う		2. どちらかといえばそう思う		2. どちらかといえばそう思う	部活動の指導時間が減るから。また、専門外や分からないことをするというプレッシャーも減ると思う。	1. そう思う	競技によりますが、専門的な競技で地域の方とのつながりがもともとある場合(今がそうですが)、地域の方の都合が悪い時には見ることができると。	2. どちらかといえばそう思う	あまり大きな違いはないように思います。	教員の働き方改革→夜間等も練習ができるなら、放課後の部活動は定時には終わるよう	顧問の都合が悪く、(中体連ではなくオープンの)大会に地域部活動として参加ができ、無理なくできる。(クラブチームとの線引きが難しいですが)	予算が少ないこと。お金がすべてではないですが、自分の時間を削って指導していただけるので、1人あたりどれだけの時間指導したのかで計算してほしい。
ソフトテニス部	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う		3. どちらかといえばそう思わない	夜に行っている地域移行の部活動に全員が参加していないため、地域移行の部活動がある日も平日の部活動を休みにしていないため。	1. そう思う	平日や休日の時間外の活動について、地域で指導をしていただけから。専門ではない競技の顧問となった場合、指導だけでなく審判資格を取得しなければいけない競技もあり、大きな負担となっているから。	2. どちらかといえばそう思う	自分が専門とする競技であれば検討したい。部活動を通じて得られる経験は、顧問が専門とする競技であるかどうかに関わらず生徒にとって貴重なものではあるが、前述の通り顧問が専門外の競技であった場合、技能面を教えられないことは大きなハンデとなるため。	1. そう思う	家庭の都合等で休みを取りたい場合にも、休みを取りやすい。ただし、教員間での連携(生徒指導上の留意事項や保護者との連絡等)を確実に行う必要がある。	地域の方々による教育活動への積極的な関わりが促されること(地域で子供を育てる雰囲気醸成、地域の活性化)、専門的な指導を受けられる場があることでの競技力向上	専門的な指導が受けられること 保護者の費用負担(指導者金や、これまでと同様にスクールバスの利用や施設の減免申請などは利用できるのか)の増大 指導者の責任一担い手が十分に確保できるか	

## 地域移行(顧問アンケート)

あなたが担当している部活動は何ですか。	地域の指導者が指導する取組はいいと思いますか。	地域移行の活動は、休日の部活動の負担軽減を実感していますか。	質問3で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	地域移行の活動は、平日の部活動の負担軽減を実感していますか。	質問5で3、4とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進めば、教員の負担軽減につながると思えますか。	質問7で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進んだとき、地域指導員として参加したいですか。	質問9で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	今後、地域移行が進んだとき、一人顧問制よりも複数顧問制の方が教員の働き方改革につながると思えますか。	質問11で1、2とお答えした方に質問です。その理由は何ですか。	部活動の地域移行で期待することは何ですか。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、よいと感じていることがあれば記入してください。	地域移行の活動で、学校部活動と比べ、困っていることやよくなければ記入してください。
ソフトテニス部	1. そう思う	1. そう思う		2. どちらかといえばそう思う		1. そう思う	指導を任せられる。特に経験のない競技の場合の精神的な負担が軽くなる。部活動に費やす時間が減る。	4. そう思わない		2. どちらかといえばそう思う	複数顧問になってやりにくいこともあるだろうが、仕事の分担やフォローができ、負担が軽減できる。	生徒が専門的な指導を受けられること。自分が部活動から離れ、時間にゆとりができること	スポ小からの流れがあるので、そのままコーチと保護者に任せられること	なし